70th ANNIVERSARY

Positive Change 2022

# 年間事業報告書

2022年度 公益社団法人 呉青年会議所

# 理事長報告

理事長　糸谷　知剛

To provide development opportunities that empower young people to create positive change.

これは、「より良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長の機会を提供する」という意味であり、国際青年会議所（ＪＣＩ）が掲げる使命です。

青年会議所におけるまちづくりとは、事業を通じて若者が成長し、その成長した若者がまちに溢れることがまちづくりに繋がっているという考えがあります。

本年度は、基本方針　「若者からお年寄りまで挑戦できるまち　呉の創造」　「繋がりによる人材育成・拡大機会の創出」スローガンに「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　Ｃｈａｎｇｅ」を掲げ一年間活動をおこないました。

詳細については、各担当の報告書をご覧頂きたいですが、年間を通じて一番重きを置いたのは、事業を通じてのメンバーの成長でした。

在籍年数が浅いメンバーの割合が大きくなっている中で、今まで経験したことのないことを経験してもらうことが大切です。

その一つとして、事業をするうえで気を付けた点が、ＪＣＩが定める事業構築方法（アクティブシチズンフレームワーク）の考え方を採用した点です。

ＪＣの事業は独りよがりの事業ではいけません。しっかりと地域の課題を分析し、それをステイクホルダーと一緒になって解決することが大切です。

高齢者つながり推進委員会では、この事業構築方法の基、事業を実施し、世界会議のＪＣＩ　ＡＷＡＲＤＳ　香港大会、そしてＡＷＡＲＤＳ　ＪＡＰＡＮ２０２２にエントリーしました。

結果は世界会議では受賞できませんでしたが、ＡＷＡＲＤＳ　ＪＡＰＡＮ２０２２では最終選考まで残り、来年の京都会議で結果が発表されることとなりました。褒賞を受賞するためには、正しい事業構築方法で事業を実践することが大切で、その方法で事業を実施することが根づけば、成功事業のロールモデルとなることが可能となります。

もう一つ大切にしてきたことは、他の地域の青年会議所との繋がりです。青年会議所の最大のメリットに、この全国各地に在籍するメンバー（約２万５千人）とのネットワークがあります。

私は在籍中の出向経験において、そのメリットから大きな成長の機会を頂き、大きく成長できました。このメリットを活かすことに注力しました。

よく昔ながらの慣習からこれはＪＣではない等、周りから意見を頂くことがあり、疑問

に感じたことがありました。しかしそれはいったん外に出ると、呉だけに通じるルールであったり、実際に海外を含め、色々な地域のメンバーと知り合うと、自分の所属する青年会議所の良いところ、反対に他の地域の青年会議所の良いところが見えてきます。
　ようは固定観念を捨て、色々な世界を見て、自分で正しいと思う道を判断することが大切なのです。この繋がりから色々な人を見て学び行動を起こすことが、自分の視野を広げ、能力を高める一番の近道となります。

　その一つとして本年度は（一社）那覇青年会議所との友好ＬＯＭ締結がありました。
今後この交流から自分の地域の良さや、アイデアの違いを認識すること、協働し事業を成し遂げることで、更なるメンバーの成長が期待できます。

　これを応用して考えると、自分の地域のことだけで物事を測るのではなく、他の国を視野に入れながらまちの課題を考えることで、新しい気づきが生まれることが分かります。
　本年度の国際交流創造委員会には、その要素を期待して事業を実施して頂きました。

　本年度は７０周年の節目ということで、世界会議のサテライト会場（那覇）、ジャパンナイトでブースを出展したり、例会に（公社）日本青年会議所の中島会頭や、歴代会頭の鎌田先輩をお招きしたりと様々な取り組みを行いました。
　この経験から多くのメンバーが何かを感じ、その経験から成長し、またそれを地域に還元できることを期待しております。

　結びとなりますが、私は青年会議所に入会して１２年目になり、本年度で卒業となりますが、市内外を問わず青年会議所の先輩方々から、無償の愛で、何の見返りもなく色々な機会や学びを頂くことができました。その恩はその先輩方々にはお返しできません。これまで先輩方々が実践してきたように、自分が頂いたその恩を下の世代に引き継ぐことが青年会議所の大切さであり、大きな魅力であるということを教えて頂きました。
本年度の活動から、青年会議所を表すうえで素晴らしい言葉があります。

前人樹を植え後人涼を得る　　／　ＰＡＹ　ＩＴ　ＦＯＲＷＡＲＤ

　青年会議所は先輩方々から頂いたご恩を無償の愛で後輩に引き継ぐことのできる素晴らしい団体です。多くのメンバーが、その恩や成長の機会を下の世代に引き継ぐことで、成長のロールモデルとしてまちを輝かし続ける団体であることを願っています。

最後に、本年度関わったすべての方々に感謝を申し上げます。1 年間有難うございました。
※1 月のＡＷＡＲＤＳ　ＪＡＰＡＮにて最優秀 LOM 持続可能な開発目標プロジェクト、最優秀会頭特別賞 を受賞

# 副理事長報告

副理事長　下中　嘉也

本年度、副理事長に任命して頂き多くの経験を得ることが出来ました。この経験を活かし今後もより良いまちづくりに向けた活動に邁進していくことをお約束して報告させていただきます。

７０年目の節目を迎えた公益社団法人呉青年会議所は、糸谷理事長の掲げる「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　Ｃｈａｎｇｅ」をスローガンに、「若者からお年寄りまで挑戦できるまち 呉の創造」の基本方針を目指し、私自身の５年間の青年会議所活動で得た知識と経験を基に、先輩諸兄、同期副理事長の力を借りながらも節目の年の副理事長として活動出来ました。その喜びと成長の機会に感謝申し上げます。

私は副理事長として国際交流創造委員会を担当し、青年会議所が持つ国際的な繋がりを利用し、まちの若者がまちで活躍できる人材となる事業を目標に１年間活動いたしました。

大町委員長の率いた国際交流創造委員会は２つ事業を行いました。

事業１では、呉の若者とまちに住む外国籍の方々が食の文化を通して異文化交流を行いました。普段の生活では知る機会の少ない海外の文化について、外国籍の方と交流しながら学び、相手のことを知り自分のことも知ってもらう。楽しさや発見を通して積極的に行動できるグローバルな人材と成る事業を展開しました。

事業２では、呉の商店街の「レンガ通り」をお借りして外国籍の方も交流できるフェスを開催しました。呉の高校生に広報活動をしてもらうこととし、そのためにまずは発信力を身に付けるセミナーを開催しました。まちの将来を担う若者に今後呉のまちで活躍してもらう力を身に付けてもらう事業を展開しました。

フェス当日は、呉のまちの飲食店や物販店、ステージパフォーマーの方々にご協力頂き、多くの呉市民と外国籍の方々が交流できる盛大なものとなりました。この成功は広報活動を一生懸命頑張ってくれた高校生達のおかげでした。参加して頂いた高校生の広報力は予想以上で、我々呉青年会議所メンバーが若者の力を改めて思い知らされる結果となりました。

真摯に事業に向けて挑戦してくれた大町委員長、スタッフ、メンバーには感謝いたします。市民に向け「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　Ｃｈａｎｇｅ」する機会を提供する事業を展開してきましたが、市民に対してだけでなく私自身が成長することの出来る機会を多く頂く１年でした。

本年度の事業運営にあたり、他団体の方々や行政の方々、市民の皆様と、多くの方にご協力を頂きました。皆様との協力関係があってこそ大きな活動が出来るということを再認識いたしました。ここに感謝申し上げ報告といたします。

# 副理事長報告

副理事長　小田　晃士朗

本年度「高齢者が挑戦できるまち」を目指し、「楽しくつなぐ」をスローガンにプロジェクトを推進する高齢者つながり推進委員会のマネジメントをさせて頂きました。当委員会は、高齢者の皆さまが人との繋がりを作り、健康を維持し、生きがいを見つける事業として、コミュニケーションツールとして、ＺＯＯＭやＬＩＮＥの導入、また、楽しくチャレンジできる昔遊びのけん玉を活用し、セミナー講座、オンライン同時事業など、呉市と共催にて行いました。

呉市内で運動を展開するにあたり、呉市や社会福祉協議会の皆さまをはじめ多くの協力を頂くことができました。このことは多くの方から評価されたと同時に、期待頂いたからだとおもいます。呉青年会議所内のプロジェクトチームメンバー全員が、一所懸命に活動した結果ではありますが、ご協力頂いた多くの団体の皆さま、個人の皆さま、そしてボランティアの皆さまがいなければ、彼らも行動ができませんでした。多くの支えに感謝ばかりです。

その結果、現在ではスマホを積極的に活用する流れが高齢者内でも起きていること、そして、健康維持にけん玉というコンテンツを取り入れようとする団体がでてきたことなど、私たちの運動が微力ながら本市に役立つことができたのではないかと考えております。

また弊団体内のことになりますが、上記、高齢者つながり推進委員会の事業が青年会議所国内においても評価され、世界大会に申請されることとなりました。残念ながら世界において褒賞を頂くことはできませんでしたが、国内での評価は大変うれしく思います。私個人として、当世界大会へノミネートを行う際、英語での文章作成、プレゼンテーション資料作成などに関わらせて頂きましたが、非常に貴重な経験であり、自分自身の成長機会となりました。その他にも、呉青年会議所の理事職として、呉市キャリア教育推進協議会と呉税務関係団体連絡協議会に出席させて頂き、多くの学びを頂きました。

最後に、公益社団法人呉青年会議所は本年７０周年でした。その節目の年に副理事長という職をさせて頂いたこと、そして、その職のもと、呉市内の様々な方と共に活動できたことは、自分にとって貴重な経験となりました。社会情勢が激変する現在、この一年で活動したことを大切にしながら、新たなチャレンジを続け、向こう１００年を見据えたまちづくりを、今後も呉市内の皆さまと行っていきます。

# 副理事長報告

副理事長　志々田　裕介

２０２２年度、糸谷理事長の掲げる基本方針の中で、主に「繋がりによる人材育成・拡大機会の創出」を担当する副理事長として、谷本委員長のＳＹＮＥＳＴＨＥＳＩＡ委員会と定森委員長のＨＥＡＴ委員会の２委員会を担当し活動した。

谷本委員長率いるＳＹＮＥＳＴＨＥＳＩＡ委員会には、会員拡大機会の創出を目的として、呉の若者が呉青年会議所を知る異業種交流会、呉のまちについて一緒に考えるセミナー、そしてまちのために若者が協力し、団結するまちづくり事業の計３事業を実施した。

口下手で事務処理が苦手な性格上、事業計画書や資料作成に戸惑ったり、会議内で上手く自分の思いを伝えられなかったりと苦労する場面は見られたが、いつでもめげずに懸命に前を向いて動き続ける活動はメンバーからの強い信頼を得ることができた。実施した異業種交流会やセミナーでは募集を上回る人数の参加者と交流する機会を得ることができ、まちづくり事業においても大変多くの市民に成果を発表することができた。参加者からは、呉青年会議所の活動に共感できた、また呉のまちの若者同士が繋がる機会を持てたという意見をもらうことができた。

定森委員長率いるＨＥＡＴ委員会には、会員の拡大と、青年会議所活動を体験する半年間の仮入会員のアカデミーを担当してもらった。過去数年間と比べると新型コロナウイルスの影響は幾分緩和が見られたものの、会員や入会候補者により考えは様々である中、常に万全の対策を講じたうえで拡大活動、入会候補者面接、仮入会員会議や２回に渡る仮入会員セミナーを実施した。

計画書の起案や会議内での答弁は得意な反面、自身の熱意を相手に伝えるということに苦手意識を持っていたが、自分の思いをしっかりとメンバーに伝えることで、一丸となって会員拡大に取り組むことができた。仮入会員に対しても青年会議所活動の楽しさや、そこから得られる学びを熱心に説くことで、結果として２０人の仮入会員、１１人の新入会員を迎えることができた。

どちらの委員長も、自分の苦手とすることや不得意なことも前向きに取組み、委員長という役職から目を逸らすことなく青年会議所活動に取り組むことで、メンバーをはじめとする多くの人が共感し、たくさんの協力を得ることができた。

私自身も副理事長という役職から、委員長２人にどのように伝えればモチベーションを上げられるのか、苦手な事にも飛び込んでいけるのかを悩みながら行動する一年となった。時には厳しい言葉をかけてしまうこともあったが、年下の副理事長にずっとついて来てくれた委員長２人のおかげで、私も大きく「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　Ｃｈａｎｇｅ」することができたと思う。

# 副理事長報告

副理事長　久保　大乗

本年度、私は副理事長の職を拝命し、広報委員会と総務委員会を担当いたしました。

今年の広報委員会は単純に呉青年会議所のことを発信するだけではなく、他団体との連携と、呉青年会議所＝ＳＤＧｓというイメージのブランディング化を使命として活動をいたしました。また、２００１年に呉青年会議所がかつて行ったタイムカプセルを掘り起こして市民の皆様にお返しする事業を行ったり、２０１９年度に日本青年会議所で会頭を務められた鎌田長明 歴代会頭を講師としてお招きした例会を行ったりと、多岐に渡って活動しました。

情報の溢れている現在、ただ記事を投稿するだけでは目に留まりにくい中でどうすれば効果的な広報ができるか常に頭を悩ませ続けた１年間でした。

広報委員会は予定者段階から活動を始め、１２月の最後まで活動をし続けてきた委員会です。頭を抱えることや悩むことがよくあり、非常に苦労の多かった１年間でしたが、振り返ってみれば、事業に参加していただいた方々の笑顔が思い出されます。事業を通して知り合った他団体の方々との繋がりも生まれ、ホームページやＳＮＳの閲覧数等も増やすことができました。これもひとえに、大田委員長をはじめとするＷＯＷ発信委員会のメンバーの活躍のおかげです。

総務委員会は毎月の例会担当が主な役割でしたが、今年は呉青年会議所が創立７０周年という記念の年でしたので、「繋がり」をテーマに非常に多くの方をお招きし、創立記念日例会を盛大に開催いたしました。創立記念日例会には呉市長をはじめとしたご来賓の皆様や、日本青年会議所 第７１代会頭である中島土 会頭にもご出席を賜ることができました。糸谷理事長をはじめ諸先輩方が紡いで来られた他団体との繋がりがあったからこそ実現できた例会であり、７０周年にふさわしい創立記念日となりました。

総務委員会は１月の新年互礼会に始まり、１２月の卒業式まで年間を通して活動し続ける委員会です。新型コロナウイルスが発生して以降、会場準備だけではなくリモート配信の準備もしなければならず、目に見えにくい部分で非常に多くの苦労をした１年間だったと思いますが、つつがなく例会を行ってこられたのは藤井委員長をはじめとするＤｒａｇｏｎＦｌｙ総務委員会のメンバーの活躍のおかげでした。

最後に、私は副理事長としての役目を全うできたのかどうか。至らぬ点が多くあり、周りに迷惑をかけ通しだったように思います。しかし、周囲の支えがあったからこそ最後までやりきることができました。１年間、大変お世話になりました。

# 専務理事報告

専務理事　三戸　規弘

「より良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長の機会を提供する」
これは、国際青年会議所（ＪＣＩ）が掲げる使命であるとともに、毎月の例会や、事業などでは毎回メンバーで唱和しています。

本年度、糸谷理事長が掲げられた「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　Ｃｈａｎｇｅ」のスローガンはこの使命の中の一文であり、青年会議所とは入れば何かを得る事が出来るのではなく、機会を得る事が出来る団体だという事を実感した１年でした。

専務理事の役職は、理事長の掲げるスローガン、基本方針のもと呉青年会議所という団体を円滑に運営していく事と考え、全力を尽くしました。より良い変化とは固定概念に縛られない事、発展と成長をする為には、今までの踏襲に囚われず勇気を持って挑戦する。今年の理事の皆様には大変厳しい修練となったと思います。しかし、すべての理事の皆様は理事長の思いに応え、事業として成果を見せてくれました。本当にありがとうございました。

また、本年は創立７０周年という節目を迎え、日本青年会議所の鎌田歴代会頭を例会にお越し頂いた事、現役の日本青年会議所中島土会頭を創立記念日例会にお越し頂いた事、ＪＣＩ那覇と友好ＬＯＭ締結を行った事など、これまで私自身はもちろん、呉青年会議所という会としても経験した事のない経験をしました。この経験は、次年度以降もメンバーの財産として残ると確信しております。

「若者からお年寄りまで挑戦できるまち　呉の創造」と「繋がりによる人材育成・拡大機会の創出」。

全メンバーが「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　Ｃｈａｎｇｅ」を心に抱き、１年間取り組んだ運動がこの先の運動への活力になる。そう確信出来るほどの濃い１年間であったと言い切れる自分がいる事に私自身も成長させて頂いたんだと驚いています。

結びになりますが、２０２２年度の成果が、今後の呉青年会議所にとっての財産となり、我々メンバーがより良い変化をもたらす発展と成長を続けていき、このまちに還元していく事を願い、結びとさせて頂きます。
１年間、大変貴重な経験をさせて頂き誠にありがとうございました。

# 常務理事報告

常務理事　平岡　達也

会計担当常務理事として、１年間、予算の作成や管理、各種会議の資料作成などを行いました。

本年度は７０周年を迎え、この５年間で積み立てられてきた貴重な積立金を使わせて頂くこともあり、予算の作成や管理についても、事業の必要性や有効性を十分に検討しました。

しかし、各種会議の資料作成や上程作業、各事業の見積書や領収書の確認といった個々の業務に追われるあまり、予算全体の管理が十分にできていなかった場面もあり、反省も残りました。

ともあれ、本年度は、事務局というどこの委員会にも属していない立場から、それぞれの事業について、少し距離を置いてみることができ、大変勉強になった１年でした。

三戸専務理事、内冨公益担当常務理事、神田筆頭セクレタリーをはじめとするセクレタリーの皆さま、１年間ありがとうございました。

# 常務理事報告

常務理事　内冨　竜也

２０２２年度、公益社団法人呉青年会議所は７０周年を迎え 数多くの公益事業を行ってまいりました。まずは、呉市の高校生に国際交流の機会を与えた「国際交流創造事業」、呉市の高齢者が生きがいを持って生活できるまちに「高齢者つながり推進事業」、呉市の若者同士がつながる「共感覚共有事業」。そして、例年では対内向け事業を行う委員会が実施した、アカデミー委員会の「呉魅力発信事業」、広報委員会の「呉ＪＣブランディング事業」、総務委員会の「創立記念日例会」と、全ての委員会が公益事業を達成することができました。

公益担当の常務理事として、県に事業計画書・予算書の提出等を行い、 各事業においては公益目的事業として適正かどうかの判断を県と連絡を取りながら進めてまいりました。その中でも、高齢者を対象とした事業は、新たな公益目的事業として、今後の呉青年会議所の可能性を広げることができたと感じております。

また、事務局担当理事として、各種会議資料の精査や作成を行い、各委員会との連絡調整を行うことにより、青年会議活動が円滑に進むための事務作業を行ってまいりました。組織運営に欠かすことのできない事務方の役割は、今まで経験したことがない新たな視点を培うことができ、大きな成長の機会となりました。

常務理事という役職を仰せつかり、一年を通じて「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　Ｃｈａｎｇｅ」の機会を頂くことができました。毎年違う役割の中で、新たな経験から成長の機会をいただける青年会議所。次年度も新たな役割の中で尽力してまいります。

改めまして、本年皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

# 『事業報告』

国際交流創造委員会
委員長　大町　優馬

〔スローガン〕Ｔａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ

　主体性と多様な価値観。
若者のグローバル人材育成を行う上で、我々がフォーカスした要素である。この委員会としての幹となる部分を固めるまで、多くの時間を費やし、議論を重ねた。私一人でも、スタッフの力だけでもなく、委員会メンバー全員の知恵を絞り作り上げていった委員会としての芯の部分である。

　国際交流の中で主体性と多様な価値観を養うために行ったＴａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ　１．０。培った要素を実践する場として広報活動を行ったＴａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ　２．０。事業を行っていく上で、多くの教育機関や国際団体、地域団体にアプローチをし、協力していただいたことで作り上げることのできた２つの事業であった。この２つの事業を通し若者たちは海外の文化に触れ、新たな発見と知識を得た。そして想像を超える主体性を発揮し、呉のまちの魅力を幅広く発信した。

　１年間を通し、当初掲げた主体性と多様な価値観の醸成は成功したと言えるのではないだろうか。その中で高校生たちの力強さには驚かされた。外国人の中でもチームを引っ張っていく姿や、広報に自ら取り組んでいく姿は私たちが学ばされているのではないかと思うほどであった。まさに若者の可能性は無限大であると感じさせられた。今後も呉の若者たちが活躍できる場を提供していく事ができれば、彼らは我々の想像を遥かに超える活躍をし、このまちはもっと光り輝くまちとなっていくのではないだろうか。

　結びに、私はこの１年間大変多くの学びを得ることができた。この機会を与えて下さった糸谷理事長、またこの活動を行うため多くの時間を割き、力強いサポートをしていただいた下中副理事長をはじめ、当委員会の金子副委員長、大本幹事、檜垣幹事、委員会メンバーの皆様、また関わってくださった多くの関係諸団体の皆様へ心より深く御礼申し上げます。この貴重な経験を心に刻み、今後も邁進していく事をここに誓い、委員長報告とさせていただきます。

事業報告

１．事業名：３月担当例会
　日　時：２０２２年　３月　７日（月）
　場　所：クレイトンベイホテル３階　天の間
　　２０：２５～２０：５０
　協力団体：なし
　事業概要（方法）：
　　１）基本方針、事業概要についてＰＰと動画を使用し発表した。
　　２）委員長挨拶を行った。
　　３）副理事長謝辞を行った。
　検証方法と効果：
　　メンバーへのアンケートにて、基本方針・事業計画について理解していただけ、かつ共感していただけた。当委員会が目指すゴールを共有でき、メンバーにこれから何を行っていくかについて理解していただけた。

２．事業名：４月担当例会
　日　時：２０２２年　４月　４日（月）
　場　所：クレイトンベイホテル３階　天の間
　　１９：５０～２０：２０
　協力団体：なし
　事業概要（方法）：
　　１）基本方針、事業概要についての振り返りをＰＰ使用し発表した。
　　２）異なる価値観についてＰＰと動画を使用し発表した。
　　３）国際交流事業の必要性についてＰＰ使用し発表した。
　　４）体験の重要性についてＰＰ使用し発表した。
　　５）委員長挨拶を行った。
　　６）副理事長挨拶を行った。
　検証方法と効果：
　　メンバーへのアンケートにて、事業概要について理解していただき、かつ事業のイメージをすることができた。また事業への理解が深まり、協力したいと思っていただけた。

３．国際交流創造事業１（Ｔａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ１．０）

日　時：２０２２年　６月１２日（日）
　　９：３０～１６：１５

場　所：生涯研修センター
　　浜焼きダイニング　海のＹｅａｈ！！！
　　Ｂａｒ　Ｓｏ
　　Ｂｌｕｅ　Ｗｏｒｋｅｒｓ　Ｙａｒｄ
　　ダイニングバル９２

協力団体：
・呉市国際交流協会（共催）
・デュケット智美
・Ｎｇｏｎスタンド、サノ　アイリン　ロセリオ、姜紅妊、劉楊、韓俊梅、王晶晶、パタン　エムディ　ショヘル、カリム　エムディ　シャハダット、サラ　バスケス、ウメザキ　ナツコ

事業概要（方法）：

１）Ｔａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ　０．０

・デュケット智美氏を講師に迎え、グローバル人材に必要な主体性と多様な価値観をテーマにＺＯＯＭ（「Ｔａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ　１．０」参加者が対象）とＹｏｕｔｕｂｅＬｉｖｅ（視聴者数：３９名）にてオンラインセミナーを実施した。
・６月１３日に呉青年会議所公式Ｙｏｕｔｕｂｅアカウントにて録画したものを公開した。
（公開ＵＲＬ：https://www.youtube.com/watch?v=WkjAuSDdXjY&t=91s）
・「Ｔａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ　１．０」参加者に事前説明会を行った。

２）Ｔａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ　１．０

・ターゲットである呉市の高校生１９名と呉市在住の外国人２０名を計８チームに分け、午前の部では５か所に分かれフィリピン・ベトナム・メキシコ・バングラデシュ・中国の食文化体験を行った。各会場を各国独特の装飾で設え、外国人協力者に自国の文化について教えてもらった。またミッションやクイズをこなしながら調理を行い、チーム内で言葉の壁があってもコミュニケーションをとらなければならない設えとした。午後の部では「体験した食事、食文化について」「異文化交流をして感じたこと、学んだこと」をテーマにグループディスカッションを行い、発表を行った。

検証方法と効果：

事業参加者へ全員へのアンケートにて以下の結果が得られた。
・文化の違いを感じることができたと答えた方：１００％
・自分の意見を言えたと答えた方：１００％
・言葉の壁を乗り越えてコミュニケーションをとることができたと答えた方：１００％
・事前セミナーでは新潟という地方都市から世界目線でビジネス、プロジェクトを行う方がいるという事や、呉のまちでもニーズや新たな価値に気づくことで、デュケット氏の様にグローバルな人材として活躍できるということを知れただけでも高校生にとっては大きな気づきとなった。質疑応答やセミナー後も高校生がデュケット氏に積極的に質問をしており、とても主体性を持った姿を見る事ができた。
・事業当日は参加者がしっかりコミュニケーションをとる姿を見る事ができ、目的としていた主体的に自分の意見を言うことができたと考える。高校生参加者だけでなく、外国人参加者も全員が異国を感じる事ができ、外国人にも新たな気づきが与えることができ、しっかり楽しく学びを提供できた事業であった。高校生の育成という目的ではあるが、外国人のニーズである日本人との交流、新たなコミュニティ作りという点でまちの環境作りの一助となったと考える。

４．９月担当例会

日　時：２０２２年　９月　５日（月）

場　所：クレイトンベイホテル３階　天の間

　　１９：５０～２０：２４

協力団体：なし

事業概要（方法）：

１）委員会方針の振り返り、国際交流創造事業の結果についてＰＰを使用し発表した。

２）国際交流創造事業１の考察とまとめについてＰＰを使用し発表した。

３）国際交流事業２についてＰＰを使用し発表した。

４）委員長挨拶を行った。

５）副理事長謝辞を行った。

検証方法と効果：

　メンバーへのアンケートにて、当委員会の考え、事業の必要性を理解していただけた。国際交流創造事業１の効果を共有することができ、また今後の国際事業へ向けた外国人側のニーズを共有することができた。

５．国際交流創造事業２（Ｂｒｉｃｋ　Ｓｔｒｅｅｔ　Ｆｅｓｔａ～ＴａｋｅＡｃｔｉｏｎ２．０～）

日　時：２０２２年１１月１３日（日）１１：００～１５：４０

場　所：呉れんが通り

協力団体：呉市国際交流協会（共催）
　　呉市（後援）
　　井上千絵（ハッシン会議）
　　刑部友理（ハッシン会議）
　　大窪シゲキ
　　渡辺リサ

事業概要（方法）：

１）事前セミナー

・井上千絵氏が地域から発信する必要性、広報リテラシーについて講演を行った。
・刑部友理氏がインスタグラムを中心とした広報のテクニックについて講演を行った。
・各チームに分かれ、顔合わせと作戦会議を行った。

２）広報期間

・計６チームでＩｎｓｔａｇｒａｍを使用し、Ｂｒｉｃｋ　Ｓｔｒｅｅｔ　Ｆｅｓｔａの広報を行った。
・各チームが出店者・ステージ出演者へ連絡を取り、取材を行った。
・１０月２９日にハロウィンナイトのステージにて広報を行った。
・１１月８日に広島ＦＭ「大窪シゲキの９ジラジ」にて広報活動を行った。

３）Ｂｒｉｃｋ　Ｓｔｒｅｅｔ　Ｆｅｓｔａ～Ｔａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ　２．０～

・ステージにて担当ブースの紹介を行った。
・当日の様子をＩｎｓｔａｇｒａｍにて広報した。

検証方法と効果：

事業参加者へ全員へのアンケートにて以下の結果が得られた。

・今まで気づいていなかった地域の魅力に気付いたと答えた方：１００％
・国際交流ができたと答えた方：８４％
・海外の文化に触れることができたと答えた方：９４％
・自ら考え行動したと答えた方：８４％
・取材する際に下調べをし、質問内容やどのような動画、写真を撮りたいのかを考えて行うことで、主体的に取材に取り組むことができ、歴史や出展者のこだわりなど各ブースの魅力に気づくことができた。また取材を通し、海外の方々と交流する機会を作ることができ、文化についても学ぶことができた。取材という形をとることで、参加者と出店者のお互いがしっかりと目的をもって交流する機会を設けることができたため、密なコミュニケーションがとることができたと考える。フォロワー数といいね数の両方を競うことで、最後までモチベーションを維持し広報活動

を行うことができた。最終的にフォロワー数合計８，７８５、いいね数合計３９，６２３を獲得し、高校生達は想像をはるかに超える主体性を発揮し、広報活動を行った。

# 『事業報告』

高齢者つながり推進委員会
委員長　應和　悠太

〔スローガン〕楽しくつなぐ

この一年を通して事業の参加者だけでなく僕自身たくさんの方たちと楽しくつながり多世代との交流が出来た年であった。理事長から与えられたミッションを頂いたときは、今まで関りの少なかった高齢者世代とどのように楽しくつながり、高齢者が社会的役割を担っていくようにしていけばいいのかわからず、自問自答をしていた。そこで呉市の高齢者支援課が抱える課題と当委員会の事業の目的が一致し共催の運びとなった。
身体的な問題やコロナ禍で外出しにくい場合にでも、子や孫など、人とつながることができる環境の構築のため、呉市の８か所をＺＯＯＭでつなぎ、いつでもどこでもつながるツールとしてＬＩＮＥ講座を、同時に楽しく健康を促進するツールとして、けん玉チャレンジ講座をおこなった。

事業Ⅰでは、普段スマートフォンなどを使って発信することが少ない高齢者自らが発信し、つながれるようにスキルアップをおこなった。けん玉チャレンジは次の事業Ⅱまでの目標を決め、モチベーションを維持できる工夫をした。写真や動画でその様子をＬＩＮＥで送ってもらうことで、ＬＩＮＥに触れる機会をさらに増やし、習熟度を促進出来た。
その後、事業を行った８か所に出向き、フォローアップとして２か月間に渡り復習講座をおこなった。
事業Ⅱは、参加者に練習の成果を披露する機会としてメイン会場を設けて集客型のイベントをおこなった。高齢者が挑戦する姿を大勢に見てもらうことで、つながる楽しさや社会的役割を担うきっかけとなった。
メイン会場では、「高齢者の知識、経験を次世代へ」というテーマで、高齢者団体または個人にブースを出してもらい、子どもたちとの多世代の交流にもつながった。
この一連の事業をきっかけにけん玉を広めたいという参加者が増え、保育園や高齢者施設などを訪問し、けん玉講座を実施することで、社会的役割をもった活動につなげることができた。

最後になりますが、多くの時間を共有して実現に向けて動いてくれた、時岡副委員長、吉田幹事、小島幹事、委員会メンバーと長時間の相談も気さくに受けてくれ的確な助言をいつもしてくださった小田副理事長、長い事業にもかかわらず助けてくれた青年会議所メンバー、そして今回様々な提案を一緒になって考えてくれた高齢者支援課の皆様、多くの方のご協力があって出来た事業だと思っております。本当にありがとうございました。

事業報告

１．事業名：３月担当例会

日　時：２０２２年　３月　７日（月）

１９：５０～２０：２０

場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間

ＺＯＯＭ開催

協力団体：なし

事業概要（方法）：当委員会がおこなう今年度の事業概要及び目的を周知するため、下記の通りに執りおこなった。

１）動画によるメンバー紹介と背景や目的についての動画を発表した。

２）幹事より見る人が参加できるプレゼンをおこなった。

３）副委員長より取り組むべき課題などもＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔを使って丁寧に説明した。

４）委員長挨拶をおこなった。

５）副理事長挨拶をおこなった。

検証方法と効果：１）検証方法

アンケートを実施し、高齢者の現状や問題点について１００％の理解達成という目標に対し

結果：はい　９７．９％　いいえ　２．１％となった。

２）効果

今回、メンバー自身に置き換えて考えることにより高齢者の現状や課題が分かりやすいと考えて実施した結果、自分に置き換えて考えてわかりやすかった、自分ごととして考えるきっかけになったなどの意見も多数頂く事ができ、多くのメンバーに伝えることが出来た。

その反面、情報量が多すぎてどこが重要なのか、わからないとの声も多数あったことから、もっと情報を絞り内容を精査するべきだった。その分、時間も押してしまったのも反省すべき点だった。

２．事業名：５月担当例会
日　時：２０２２年　５月　９日（月）
　　１９：５０～２０：５０
場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間
　　ＺＯＯＭ開催
協力団体：なし
事業概要（方法）：高齢者が楽しく繋ぐ事業１を周知するため、下記の通りに執りおこなった。
１）事業１の趣旨について説明をおこなった。
２）事業１の公式ＬＩＮＥアカウントへの投稿やけん玉チャレンジを体験してもらった。
３）継続中の事業１の役割とその後の流れの説明をおこなった。
４）メンバーに継続中の事業１の活動を体験してもらった。
５）体験を理解してもらい、事業２につなげる継続中の事業１の必要性の説明をおこなった。
６）委員長挨拶をおこなった。
７）副理事長挨拶をおこなった。
検証方法と効果：１）検証方法
継続中の事業１における役割と事業２の繋げる取り組みの必要性を周知できたかアンケートを例会参加メンバーに実施した。
結果：継続中の事業１における役割
はい　９３．２％
事業２の繋げる取り組みの必要性を周知
はい　９０．９％となった。
２）効果
継続中の事業１の内容や、つなぐための当委員会の取り組みを多くのメンバーに理解してもらうことが出来た。
前日にあった事業１のセミナーに参加出来なかったメンバーも

共有することが出来た。
聞く・見るだけでなく体験を取り入れたことにより最後まで飽きなく聞いていただけた。
体験時にＺＯＯＭ参加しているメンバーに対しての配慮が足らず、ただ見ているだけになってしまい説明時に投げかけるなどＺＯＯＭ参加メンバーに対しての内容をもっと精査するべきであった。

３．事業名：生涯チャレンジプロジェクトＩ～世代を超えて挑戦できるまちづくり～
日　時：２０２２年　５月８日（日）１３：００～１５：１５
　　２０２２年　５月９日（日）～２０２２年　７月２日（土）
場　所：各包括支援センターが管轄する地域８か所
協力団体：呉市　（共催）
呉市高齢者支援課
呉市全域包括支援センター
呉市介護事業通いの場の貯筋グループ
一般社団法人グローバルけん玉ネットワーク
木材利用センター
株式会社ジャネス
事業概要（方法）：楽しくつながる新たな環境づくりのために参加者のスキルアップをするよう、下記の通りに執りおこなった。

呉市と共催でおこない、呉市の包括支援センターに所属する貯筋グループの６５歳以上の高齢者を募集し「ＩＣＴで楽しくつながる環境つくり」を目指しＬＩＮＥ講座とけん玉チャレンジ講座をおこなった。継続的な取組として２か月間にわたり各地域２回フォローアップをおこない楽しくつながる新たな環境づくりのためのスキルアップをおこなった。

１）スキルアップ事業

参加者　１９４名　ボランティア参加者　１１８名

〈ＬＩＮＥ講座〉

参加者全員にＬＩＮＥのインストール確認をおこない、継続的にＬＩＮＥを活用してもらえるよう、事業公式ＬＩＮＥアカウントの作成、全参加者に登録頂いた。スマホを持っていない方は、スマホを持っている方とペアを組んで頂き、資料と合わせてＬＩＮＥ講座を受講して頂いた。

ア、写真の撮り方をおこなった。

イ、動画の撮り方をおこなった。

ウ、事業公式ＬＩＮＥアカウントを活用し写真、動画データの送信をおこなった。

〈けん玉チャレンジ講座〉

一般社団法人グローバルけん玉ネットワーク　窪田氏がけん玉チャレンジ講座をおこなった。

ア、けん玉体操をおこなった。

イ、ホップの練習をし、けん玉チャレンジをおこなった。

ウ、大皿の練習をし、けん玉チャレンジをおこなった。

エ、８５歳のけん玉ワールドカッププレイヤー大和須磨子氏による、生涯学習について講演をおこなった。

２）フォローアップ

期間中参加者合計　１７５名

講座をおこなった８か所の地域にて、フォローアップをおこなった。

直接依頼のあった貯筋グループには当グループの活動場所に出向いておこなった。

合計１９回　各地域２回　貯筋グループ３回

〈ＬＩＮＥ講座〉

スキルアップ事業でおこなった内容の復習をおこなうと共に出来る方は、ビデオ通話やＬＩＮＥグループの作り方などもおこなった。

〈けん玉チャレンジ講座〉

スキルアップ事業でおこなった内容の復習をおこない事業Ⅱに

向けて練習をおこなった。

検証方法と効果：１）検証方法

アンケートにて「生涯チャレンジプロジェクト」の参加者がＬＩＮＥ講座で学んだ機能を使って今後も交流を続けたい回答率１００％を目指しおこなった。

結果：ＬＩＮＥ講座で学んだ機能を使って今後も交流を続けたい

はい　８７．１％となった。

３）効果

ＩＣＴで楽しくつながる環境づくりのため写真や動画データを送るスキルを身につけさせたい。という思いからＬＩＮＥ講座の実施に至った。当日参加者全員がＬＩＮＥで写真や動画投稿し、楽しかった、続けたいというアンケートが８７．１％と意識付けはできたと考える。そのきっかけに、セミナーが終わった後、９８件の自発的投稿があったことから、実際に自分で投稿できるスキルをもった高齢者が増えたと認識できた。

ＩＣＴで楽しくつながる環境づくりのためのシンボルコンテンツとしてけん玉を取り入れ、チャレンジ講座をおこなった。事業当日、けん玉体操、チャレンジ企画を通して、続けたいというアンケートが９６％と高く、実際にフォロー期間中、９５人の方が自らけん玉を購入し練習に参加した。加え、フォローアップ期間を通してフォローアップ参加者全員がホップ・大皿乗せが達成できた。けん玉を活用する土台ができたこと、そして一人一人のけん玉スキルが上がったと考える。これらのことから目的である、楽しくつながる新たな環境づくりのために、スキルアップをさせることができたと考える.

４．事業名：生涯チャレンジプロジェクトⅡ～世代を超えて挑戦できるまちづくり～
日　時：２０２２年　７月３日（日）１３：００～１６：３０
　　２０２２年　７月４日（月）～２０２２年　８月３１日（水）
場　所：シシンヨーオークアリーナ
　　各包括支援センターが管轄する地域７か所
協力団体：呉市　（共催）
　　呉市高齢者支援課
　　呉市全域包括支援センター
　　呉市介護事業通いの場の貯筋グループ
　　一般社団法人グローバルけん玉ネットワーク
　　木材利用センター
　　株式会社ジャネス
事業概要（方法）：楽しくつながる新たな環境をつくるため、下記の通りに執りおこなった。
「みんなでチャレンジ」をコンセプトにＩＣＴを活用した多世代参加型事業を７月３日にスタートアップとして開催し、その後、公式ＬＩＮＥアカウントを活用し、共通の趣味や知識などから新しくつながった高齢者の新団体を立ち上げ、地域への社会活動をして多世代と交流する２部構成でおこなった。
１）スタートアップの部
・事業Ｉで練習してきた成果の発表の場としてメイン会場と地域７か所の会場をつなぎ実施した。
ア、ＬＩＮＥでクイズダービーをおこなった。
イ、けん玉チャレンジをおこなった
・メイン会場にて田村友里アナウンサーと一般社団法人グローバルけん玉ネットワーク代表理事の窪田保氏にＭＣをおこなってもらい会場を盛り上げた。
ア、最後まで勝ち残ろう！けん玉イカゲームをおこなった。
イ、パフォーマーによるけん玉パフォーマンスをおこなった。
ウ、呉氏・呉氏キッズのパフォーマンスをおこなった。
・メイン会場にてけん玉以外にも高齢者が若者と楽しくつながる

環境を準備しおこなった。

ブース体験スタンプラリーを開催し、ブースを３か所回りスタンプを集めた方先着２００名にオリジナル缶バッチをプレゼントとした

２）フォローアップの部

この事業に共感をもった高齢者を集い、新団体を設立しけん玉教室をおこなうなど役割をもって社会活動してもらうようフォローを実施した。

高齢者音戸グループ３名が放課後等デイサービスにこにこ園の児童１１人と、サービス付き高齢者向け住宅めぐみ園阿賀の高齢者１１人に対して、ＺＯＯＭを活用し、けん玉体操やけん玉の技を教えた。

高齢者吉浦グループ２名が、至心保育所の児童１１人に対して、けん玉体操やけん玉の技を教えた。

検証方法と効果：１）検証方法

アンケートにて「生涯チャレンジプロジェクト」の参加者から１．楽しさの実感　２．挑戦への生きがい　３．人とのつながり　４．社会活動への参加意欲　の【はい】の回答率８０％の達成と新団体を立ち上げ、社会活動報告を２回おこなうこと目指した。

結果

１．楽しさの実感　　１００％
２．挑戦への生きがい　　９６．９％
３．人とのつながり　　９０％
４．社会活動への参加意欲　８６．２％

全項目８０％を達成した。

社会活動報告に関しては　８月２６日　８月２９日におこなった。

２）効果

地域７か所にも会場を設置することで、移動しにくい高齢者にも参加してもらえた。

参加者が１カ所に集まりにくい状況から各地域に分散しおこなうことで、コロナ過でもたくさんの人が安心して参加出来た。

十分なスペースがある会場を使用することによりコロナ対策も万全な状態で開催できた。

デジタルが苦手な世代に対して、デジタルの利点を知ってもらい、実際に体験してもらうことができた。

ＬＩＮＥをクイズの回答方法に使用することで、苦手意識よりも楽しむことを目的としてＬＩＮＥの使用を促せた。

会場ごとに集計することにより、けん玉レベルに依存することなく参加してもらうことができた。

事業Ⅱまでの自身のためのチャレンジを活かし、人のためのチャレンジ（社会活動、社会的役割）に繋げ活動することができた。

高齢者と子供たち、先生たちの多世代交流を楽しく繋げることができた。

今まで練習したけん玉を参加者が実際に社会活動として実施してもらうことで、充実感を生きがいとして感じてもらうことが出来た。

５．事業名：９月担当例会
　日　時：２０２２年　９月　５日（月）
　　２０：２０～２０：５０
　場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間
　　ＺＯＯＭ開催
　協力団体：なし
事業概要（方法）：今後の効果的な運動につながるよう事業計画について共有するため、下記の通りに執りおこなった。
１）事業動画を流して事業の全体の様子を共感した。
２）生涯チャレンジプロジェクトⅠの報告をおこない共有した。
３）生涯チャレンジプロジェクトⅡの報告をおこない共有した。
４）フォローアップの報告、Ⅰ～Ⅱを通しての成果報告をおこない共有した。
５）委員長挨拶をおこなった。
６）副理事長挨拶をおこなった。
検証方法と効果：１）検証方法
当委員会の今後の効果的な運動につながるよう事業計画について周知できたかアンケートを例会参加メンバーに実施した。
結果：はい　９７．３％
２）効果

長期間の事業だったため、事業全体の報告することで多くのメンバーに当委員会がおこなった運動を理解してもらえた。
事業参加者のアンケートを流すことにより参加者の気持ちをよりリアルに伝えることが出来た。
成功例や失敗例を明確にし、話すことで次年度へ伝えることが出来た。
メンバーが参加していない事業Ⅱのフォローアップの報告をすることでⅠ・Ⅱの成果をしっかりと共有出来た。

# 『事業報告』

ＳＹＮＥＳＴＨＥＳＩＡ委員会
委員長　谷本　信志

〔スローガン〕～共感覚って大事じゃけぇ～

私は、この１年間、呉の若者と呉青年会議所の接点の場を設けて呉青年会議所を知ってもらい、そして会員拡大のきっかけを作るという活動をしてきました。

呉青年会議所には多種多様な人材がおり、固定概念にとらわれず、様々な視点で物事を考え、意見や発想がたくさん浮かんでくる、そしてその多様な発想（共感覚）を感じることで人として成長出来るということを知ってもらいたいと思いました。呉青年会議所を名前だけ知っている方は沢山いましたが、どのような活動をしているかということを知っている方は青年会議所の関係者がほとんどで、本当に呉青年会議所の事を知っている呉の若者は多くいません。そこで呉の企業や商店街を訪問し、チラシやポスター、各種メディアやＳＮＳ広報を利用して事業を告知しました。糸谷理事長から与えられた呉市の若者と呉青年会議所のメンバーとの接点の場を設けていく活動をしてきました。

具体的には、接点の場を設ける活動として異業種交流会を開催しました。個性豊かで多種多様な人材がいるこの呉青年会議所を知ってもらうには、参加してくれた呉市の若者が楽しく笑顔で記憶に残るような交流と、もっと呉青年会議所の方と話したいと思ってもらう異業種交流会が必要だと考えました。ただの異業種交流会ではなく、しっかりと仲良くなれるもの、同じ課題に取り組むことで団結できる交流会の２事業を実施しました。

委員会をはじめ、会議を行なう中でも、呉青年会議所メンバーを知ってもらい身近に感じてもらうには何が必要なのかと日夜議論し、出た答えは、呉青年会議所メンバーと一般参加者と一緒に苦楽を共にして行動をすることでした。３つ目の事業では、準備から開催まで、一つ屋根の下とまではいかなくとも、呉市の若者と呉青年会議所メンバーが大変な肉体作業や準備を行ない、休憩では本音で語り合いながら同じ釜の飯を食べ、他愛ない会話ができる環境を作ることで仲間意識を持ち、団結力を高めていく事業を行ないました。

結びに、こんな委員長についてきた委員会、助けてくれた同期や同期委員長そして志々田副理事長には感謝してもしきれません。事業成功に導いてくれた呉青年会議所メンバー、協力して頂いた先輩方や呉市役所・商店街の方々、大変だったのですが大きく成長できた１年でもありました。本当にありがとうございました。

事業報告

１．事業名：２月担当例会

日　時：２０２２年　２月　７日（月）

２０：２０～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間、ＺＯＯＭ

協力団体：なし

事業概要（方法）：基本方針・年間事業計画の発表を行なった

１）共感覚の説明をイメージ動画を用いて行なった

２）委員会の基本方針の発表を行った

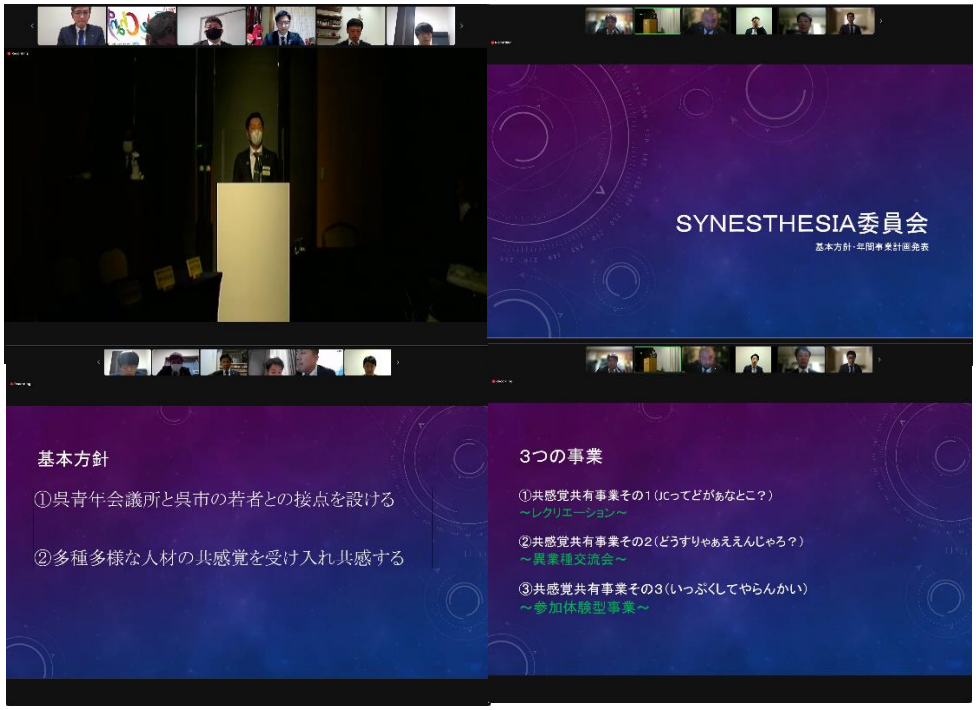
３）年間事業計画と今後の事業イメージを発表した

検証方法と効果：検証方法

例会後にアンケートを実施し、当委員会の考える共感覚を共有することの重要性が伝わったかを確認した。結果、理解できたと回答したメンバーが９２．５％（回答数４０名中３７名）

効果

アンケート結果９０％以上の理解と共感を得ることができた。




２．事業名：共感覚共有事業１「呉の若者をつなぐＥｘｃｈａｎｇｅ　ｍｅｅｔｉｎｇ」

日　時：２０２２年　３月２６日（土）　１９：００～２１：００

場　所：ビュー・ポートくれホテル３Ｆ大ホール

外部協力者：株式会社オーロインターナショナル代表　徳満　　純二氏

事業概要（方法）：２０代～３０代の呉市・呉市近郊に在住または勤務している若者を対象に異業種交流会を実施した。全２部制として第１部では呉について考え、第２部では交流を深めるための懇親会を行った。

１）受付時間から事業開始まで呉青年会議所が過去に実施した事業の動画を配信した。

２）呉青年会議所という団体の説明を行い認知度を高めた。

３）第１部で「ワードウルフ」「呉のよくいくお勧め店発表」によりグループ内で意見交換を行い参加者同士とメンバーの交流をした。
４）第２部の懇親会では各テーブルによる対抗ゲームをし、一部ポイントで仮面をつけての名刺交換をして交流をした。
５）事業全体を通して徳満純二氏による音響効果・ナレーションにより会場を盛上げて進行を行った。

検証方法と効果：検証方法

事業後に参加者にアンケートを行ない、呉青年会議所という団体を知ることが出来たか、様々な業種や人がいるという事を知る事が出来たかを回答してもらった。
呉青年会議所という団体を知ることが出来たか、呉青年会議所には様々な業種や役職の人がいるということを知ることが出来たか、呉青年会議所が行うその他の事業へ今後参加してみたいと思ったかのそれぞれの問いについて全てはいの回答１００％を得た。

効果

・当初からこだわり抜いた交流する際の仮面を付けるという部分について、設えとしては若干難しい部分があったが、呉青年会議所のメンバーが積極的に話しかけ、若者同士の交流を促してくれる動きをしてくれたおかげで、終始明るい雰囲気で交流することができた
・呉青年会議所という団体には様々な人がいて堅くないという認識を周知することができた。事業に参加してくれた方の中から２名の方が新入会員として入会した。

３．事業名：共感覚共有事業２
「ＳＤＧｓ戦略セミナー！～ＳＤＧｓを取入れて会社の強みを活かそう～」
日　時：２０２２年　６月　９日（木）　１９：００～２１：００
場　所：ビュー・ポートくれホテル３Ｆ大ホール
外部協力者：ＮＰＯ法人ＳＤＧｓ　Ｓｐｉｒａｌ　代表　森川　妙
事業概要（方法）：２０代～３０代の呉市・呉市近郊の若者を対象にＳＤＧｓについてのセミナーを行った。ＥＮＧＡＧＥＭＥＮＴ　ＣＡＲＤ　Ｐｌｕｓとオリジナルの ＳＤＧＳカードを使用し、自社アピールとＳＤＧｓ活用についてアピールの２種類のカードを使用し

て交流を行った。
１）受付から事業開始までの間で一般参加者と呉青年会議所メンバーと交流をした。
２）呉青年会議所という団体と本事業の趣旨について説明を行った。
３）ＥＮＧＡＧＥＭＥＮＴ　ＣＡＲＤ　Ｐｌｕｓを使用し、自社アピール又今後の未来についてのアピールをして交流を行った。
４）講師によりＳＤＧｓ活用事例や活用方法についてのセミナーを行った。ＳＤＧｓ達成のための「取り組み」を探すワークショップを行い、他社のリサーチを行った。
５）ＳＤＧＳカードを使った名刺交換会を行った。

検証方法と効果：検証方法

一般参加者アンケートを実施した。結果は下記。

共通の課題を持った参加者同士で意見交換や交流することができた【１００％】

①ＳＤＧｓについて理解を深めることが出来た【１００％】

②自社が行っているＳＤＧｓについて認識することができました【１００％】

③共通の課題を持った参加者同士で意見交換や交流することができた【８０．９％】

効果

・ＳＤＧｓを難しく考えなくて身近に感じることができ、自社でＳＤＧｓに関して取り組んでいることの振返りができることができた。今後の活動についてアピールすることで共感を得ながら交流できた。

・ＳＤＧｓの持続可能とまちの問題点のすり合わせに、講師の実例を聞き着目することの必要性を参加者に知っていただき意見交換をしながら交流することができた。

４．事業名：７月担当例会
　　日　時：２０２２年　７月　４日（月）
　　１９：５０～２０：５０
　　場　所：クレイトンベイホテル３階　天の間、ＺＯＯＭ

協力団体：なし
事業概要（方法）：当委員会が開催した事業１・２事業結果を会員に報告し、今後の事業３についての開催を円滑に行えるよう周知した。
１）事業１について、ＰＰを使用し事業の反省点を含めて報告した。
２）事業２について、ＰＰを使用し事業１と比べ集客や広報について、反省が活かされていなかった部分を次回事業３に繋げるよう報告を行った。
３）事業３について、メンバーに楽器の演奏をしてもらうことで、団結することの大切さを周知した。
検証方法と効果：検証方法
会員に対して下記の通りアンケートを実施した。結果は下記
・事業１・２の事業で若者との接点づくりが出来たか【７８．３％】
・当委員会が考える事業３の内容、事業目的について理解できたか【７１．７％】
効果
・当委員会が行なった事業の参加者が呉青年会議所と繋がったことを実感してもらえた。
・委員会の個性を活かし、事業３の一体となり一つの事業を成功させる体験参加型事業を周知ができた。
・前半事業１・２の反省点を発表し次回に繋げるための報告を計画したのでユーモアを取入れ、また委員会メンバーの個性を生かし今までにない新しい退屈させない例会の実施できた。
・その反面、反省点を次回に繋げる内容がメンバーに伝えきれず更に事業３の目的の説明が不足し「呉の若者に団結力を構築してもらう」について、なぜ団結力が必要なのか、また、団結し事業実施後に目標に向かって達成することで自分たちでも地域を盛上げていけることが出来るのだと実感し、活動できるきっかけづくりの為だという説明が必要だった。
・仮入会員からは今まで堅苦しい例会だったので、そうじゃない会場を巻き込む楽しい例会もあり楽しめたという意見をもらったことが一番の効果だと感じた。

５．事業名：共感覚共有事業３「呉の魅力を組み立てろ」

日　時：事前準備実施日１０月２２日・２３日　　９：００～１６：００

事業実施日１０月２９日　　９：００～１５：００

場　所：事前準備実施日会場：呉市立昭和西小学校体育館

事業実施会場：呉市中通４丁目４（ビリーザキッド前歩道内）

協力団体：呉市私立幼稚園協会　　呉市立昭和西小学校

呉市秘書広報課　　ペアーレれんがどおり

呉市教育総務課　　中市通り商店街組合

呉市商工振興課　　呉フレンドシップパートナーズ

呉市土木総務課　　株式会スポート

呉市企画課　　中国新聞社呉支社

くれえばん　　広島テレビ放送（株）呉支局

事業概要（方法）：呉市または呉市近郊に居住・勤務・通学する２０代～３０代の若者を対象として呉青年会議所メンバーと一緒に木材を加工し、休憩時間では、一緒に参加者と休憩を取る交流時間を設けながら巨大木造呉氏を製作した。事業実施日にれんが通り商店街で同日開催のハロウィンパレードや呉市主催のご当地キャラクター祭りに合わせて巨大木造呉氏を披露した。

・事前事業１０月２２日～２３日一般参加者と一緒に呉氏作製を下記の通り行った。

１）受付開始から事前事業開始までの間に参加者と呉青年会議所のメンバーで交流した。

２）呉青年会議所という団体と今回の事業の趣旨について説明を行った。

３）作業内容と危険作業の注意喚起を説明し、班に分かれて木材加工作業を行なった。

４）作業の合間に休憩時間を取り、参加者と呉青年会議所メンバーが一緒に「いっぷくカフェ」スペースで休憩をして、交流した。

５）事前事業終了後に２９日の組立とお披露目にも参加してもらうよう周知した。

・「呉の魅力を組立てろ」事業日２９日下記の通り行った。

１）事業開始前までに参加者と呉青年会議所メンバーが交流を深めた。

２）事業の安全対策とこの事業の趣旨について説明を行った。

３）作業内容・周囲観客への安全の配慮を説明した。参加者より選定した棟梁役があいさつを行い作業の安全を願った。

４）巨大木造呉氏の組立作業を行なった。

５）休憩も全員で同時に取り、一般参加者と呉青年会議所メンバーが交流を深めた。

６）木造呉氏組立完成後に、参加者全員で上棟式の棟飾りを取付け、お披露目解体までの安全を祈願した。

７）木造呉氏組立達成の福を分けるという意味で一般の観客に向け餅配りを行った。

８）翌日３０日に解体作業を行った。

９）解体終了後、使った木材をジャングルジムに組み換え、幼稚園協会を通して募集した呉市の幼稚園に向けジャングルジムの寄贈を行なった。

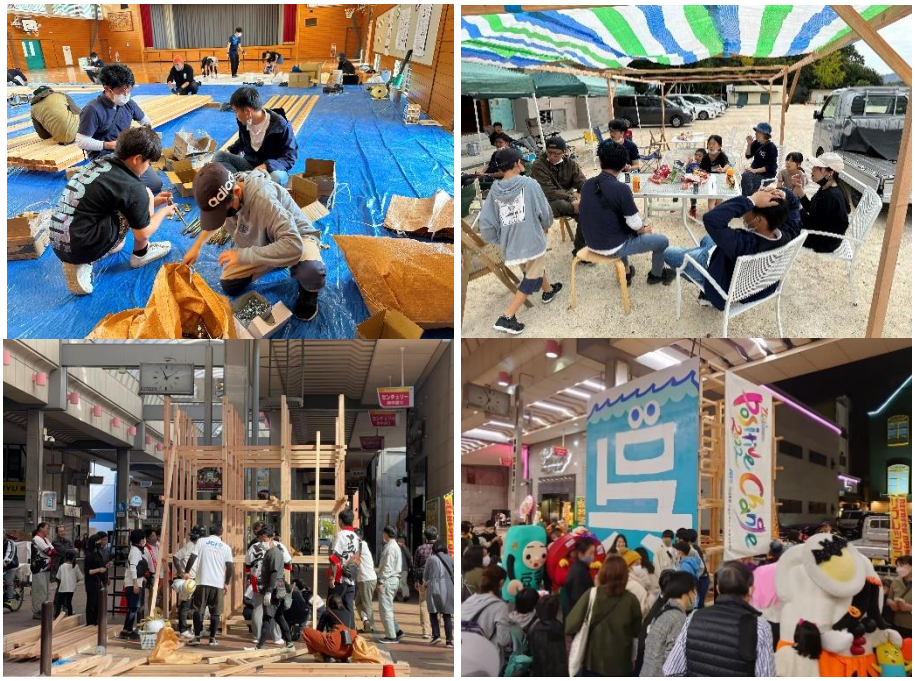
検証方法と効果：検証方法

参加者に対してアンケートを実施した。結果は下記の通り。

・作業や休憩も共に行動し、呉氏組立を協力して行うことで団結することができたという回答が全体の８０％となった。

アンケート内容は下記の通り。

①共通の課題を持った参加者同士で意見交換や交流することができたか【６３％】
②参加者同士団結力を持って目的を達成することができたか【７３％】
③今回の事業で出会ったメンバーと今後も活動をしていきたいと思ったか【６３％】
④今後、呉青年会議所の事業に参加してみたいか【５２％】
効果
・共通のテーマのもと一緒に苦楽を共に作業をし、休憩時間も共に行動することにより団結力が生まれ交流ができた。
・呉氏を解体してジャングルジムへと制作し呉市の未来ある子供達の幼稚園に寄贈して利用することにより制作時に一つの事を一緒に取組むことで団結して、最終の目的地を確認することで達成感が生まれた。
・木造呉氏組立中やお披露目中で通行人が多く訪れてくれた。また呉氏に呉青年会議所のスローガンの横断幕を設置して、訪れた方が写真撮影をしていたので呉青年会議所の周知にもつながった。
・巨大木造呉氏をジャングルジムに同じ材料でつくり変えて幼稚園に寄贈することで、再利用ということでＳＤＧｓに関連させ幼稚園の先生が子供たちに教えてもらえた。
・同日開催のハロウィンパレード、ご当地キャラクター祭り、れんが通り商店街主催者の小松先輩やキッズダンスコンテストの谷村さんや呉市秘書広報課の方達と一緒に呉市を盛上げ団結できた。



# 『事業報告』

ＨＥＡＴ委員会
委員長　定森　斉彦

〔スローガン〕やるならとことん熱くなれ！

会員拡大の必要性、重要性。毎年のように繰り返される会員拡大活動。私はこれまでの青年会議所活動の中で、青年会議所はまちの為に活動する団体であって、会員拡大は他人事のように感じていました。しかし会員拡大について日本青年会議所のセミナーに参加し、学んでいく内に、会員拡大こそが青年会議所活動なんだという事を考えるようになりました。ＪＣＩＭｉｓｓｉｏｎ、青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する。会員拡大はこのミッションである成長の機会を提供する事に繋がります。

本年度、会員拡大活動、仮入会員のアカデミー活動では熱く活動する、熱い想いを持つという事をテーマに活動を行いました。青年会議所に入ったきっかけ、青年会議所を続けている理由を振り返る事で、呉青年会議所の魅力を入会候補者に伝える事が出来ました。

また、アカデミー活動では仮入会員が熱い関係を構築出来るようセミナーを２回行いました。仮入会員の一致団結する姿、支え合う姿から、仮入会員の絆が醸成されていく姿を見る事が出来ました。仮入会員期間、半年間の集大成である１０月例会では、それまで幾度となく重ねた会議、考え直した呉のまちの魅力を仮想事業として構築し、発表を行いました。人と人との繋がりが一つの事を為しえるということを実感しました。

仮入会員が考えた呉の夜のまちの魅力、そして呉青年会議所の魅力を発信するべく、世界会議ジャパンナイトではブースを出展し、１５００人以上集まった青年会議所会員に呉の魅力を十分に知ってもらう事が出来たと考えます。

この１年間、多くの方のご協力により、本年度は１１名の新入会員を迎える事が出来ました。会員拡大こそが最大の青年会議所の活動であるという事を、これからも伝えていけるよう、残りの青年会議所活動を行っていきます。

１年間を振り返ってみて、私自身、多くの方に支えていただきました。これは私一人では決して成す事が出来ませんでした。支えてくれた多くの方に本当に感謝いたします。

事業報告

１．事業名：２０２２年度会員拡大方針

日　時：２０２１年１１月１９日から２０２２年１１月３０日まで

場　所：適宜

協力団体：なし

事業概要（方法）：メンバー全員で熱く拡大活動できる方法の構築。

・入会候補者リストの整理、情報収集

会員拡大ＬＩＮＥを作成し、入会候補者リストの整理、情報収集を行った。１月には各委員会の会議に参加し、入会候補者情報を整理した。会員拡大ＬＩＮＥにてパンフレット、マニュアルを配信した。

・ＪＣ振り返りシート

青年会議所活動を振り返ったシートを作成し、メンバー全員から回収を行った。現役会員に青年会議所活動を続けている理由や入会してよかった点などを振り返ってもらい、２月例会にてフィードバックを行った。

・チームによる会員拡大活動

長歴者、中歴者、短歴者に分け、３人～４人のチーム分けを行い、ポイントレースを行った。メンバー全員のポイント目標、７０万ポイントに対し、結果は６２万９００ポイントとなった。

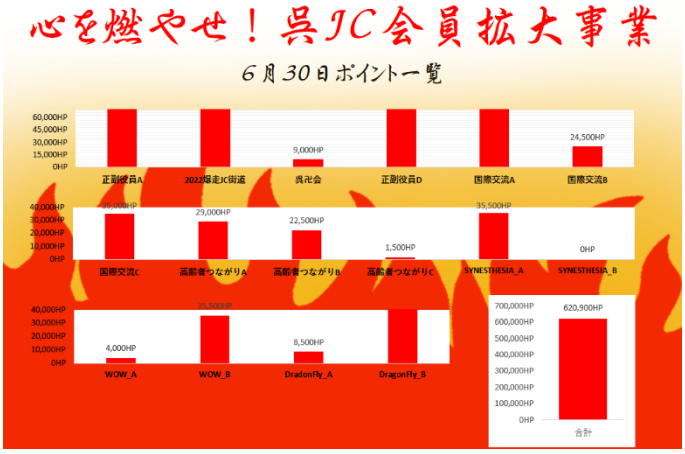
・ＳＹＮＥＳＴＨＥＳＩＡ委員会の事業における情報収集

ＳＹＮＥＳＴＨＥＳＩＡ委員会の事業参加者の情報を入会候補者リストへ追加し、会員拡大活動を行った。

・各事業での宣伝活動

各事業にて入会パンフレットを配布し、会員拡大の宣伝を行った。

検証方法と効果：　会員拡大活動において、青年会議所の魅力をしっかりと伝える為に、現役会員のこれまでの活動を振り返り、入会候補者に青年会議所についてしっかりと伝える事が出来るようマニュアルを作成する事で、より青年会議所について入会候補者へ伝える事が出来た。６月までの会員拡大期間において仮入会員２０名、１０月例会では新入会員１１名を迎える事が出来た。



２．事業名：２月担当例会
　　日　時：２０２２年2月７日（月）１９：５０～２０：２０
　　場　所：クレイトンベイホテル３階　天の間、ＺＯＯＭ
　　協力団体：なし

事業概要（方法）：メンバー全員で会員拡大に取り組む意識を高める為、例会を行った。まん延防止及び緊急事態宣言時の中、グループディスカッションを円滑に行う為、会場参加者とＺＯＯＭ参加者を事前に各委員会に分けて行った。
１．会員拡大の必要性、年間事業計画についてＰＰを使用して発表した。
２．会員拡大ＬＩＮＥの説明を行った。
３．推進面談時の経験を経験と反省点を元に、会員拡大における重要な点を説明した。
４．会場参加者は各テーブル、ＺＯＯＭ参加者はブレイクアウトルームを用い、それぞれ分かれてグループディスカッションを行った。
検証方法と効果：アンケート結果により会員拡大の必要性を理解し、意識が高まったという意見を得られた。当委員会が考える会員拡大の必要性と、拡大における重要な点をメンバーに周知することが出来たと考える。また、青年会議所への愛着心、どんな所が好きかを多くのメンバーに再認識してもらう事が出来た。当委員会の熱量をメンバーに周知することが出来たと考える。

３．事業名：入会候補者面接
　　日　時：第一回入会候補者面接：２０２２年３月２５日（金）１９：００～１９：４７
　　第二回入会候補者面接：２０２２年３月３１日（木）１９：００～１９：５３
　　第三回入会候補者面接：２０２２年４月０４日（月）１８：３０～１８：４４
　　第四回入会候補者面接：２０２２年６月０１日（水）１９：００～１９：４１
　　第五回入会候補者面接：２０２２年６月２１日（火）１９：００～１９：３５
　　第六回入会候補者面接：２０２２年６月２７日（月）１７：３０～１７：４９
　　場　所：第一回～第五回入会候補者面接　：クレイトンベイホテル　花の間
　　第六回入会候補者面接　　：株式会社アスリート
　　第一回、第二回、第四回～第六回入会候補者面接：ＺＯＯＭ配信
　　協力団体：なし

事業概要（方法）：入会候補者が呉青年会議所に相応しいか審査する為、入会候補者面接を行った。入会候補者には３分間のスピーチ及び質疑応答を行った。３分間スピーチのテーマは「人生で熱くなった事」とした。

現役会員に入会候補者の情報をより知ってもらう為、プロジェクターに投影した。内容は顔写真、会社名、役職、業種、趣味とした。
入会候補者へ青年会議所の事業を体験してもらう為、厳粛な雰囲気の中、スピーチを行ってもらった。
検証方法と効果：プロジェクターでの資料とＺＯＯＯＭ配信を行った為、より多くの現役会員に入会候補者を知ってもらう事が出来た。
入会候補者には厳粛な雰囲気を感じてもらう、面接を行う事で入会候補者同士が知り合えるきっかけを作る事が出来た。入会候補者それぞれが３分間の面接の為にしっかりと準備をし、緊張感を持って面接に臨んでおり、青年会議所における最初の修練として面接の効果が得られた。

４．事業名：仮入会セミナー１
　　日　時：２０２２年４月９日（土）１３時００分から２０時３０分
　　場　所：ＩＨＩアリーナ　２０１会議室
　　つばき会館　５０６調理室
　　ビューポート呉　３階大ホール
　　協力団体：なし
事業概要（方法）：仮入会員に青年会議所の基礎知識を習得させる、また仮入会員同士の関係構築の為、セミナーを行った。
（１）座学
開会式及びアイスブレイク、座学を行った。
座学は２０２１年度新入会員が講師となり、ＰＰの資料を元に青年会議所の知識について学んだ。座学終了後は２０２２年度委員長より、今年度の方針や自分たちの委員会がどのような事を行うのかの説明を行った。
（２）ロジカルシンキング・調理
ロジカルシンキングによるゲーム、調理を行った。調理では料理の名前と材料をヒントに各チームで調理方法をディスカッションし、調理を行った。食事の後は調理工程の答え合わせを行い、感想をディスカッションした。
（３）懇親会
会場には縁日をイメージした射的、型抜き、フランクフルト、綿菓子、昔懐かしいコーナーとしてけん玉やボードゲームのコーナーを設置。食べ物は駄菓子を準備した。屋内ではあるが花見を演出する為に中央に桜を飾った。懇親会の途中にて仮入会員の自己紹介タイムを

行った。
検証方法と効果：座学により仮入会員に青年会議所への理解、基礎知識の習得させる事が出来た。２０２１年度新入会員を講師とする事で、新入会員は知識の振り返りと復習、仮入会員へは新入会員でもしっかりと知識を持っているという姿を見せる事が出来た。調理ではディスカッションを行う事で各メンバーがしっかりと発言出来るようになり、懇親を深めつつ料理を完成させる事が出来た。その後の懇親会も含め、各会員がしっかりと交流する事が出来、仮入会員同士の関係の構築も出来た。セミナーに参加する事で青年会議所の目的や意味をしっかりと伝える事が出来、今後の仮入会員期間の活発な活動に繋がった。

５．事業名：仮入会セミナー２
日　時：２０２２年９月１８日（日）１３時００分から１７時３０分
場　所：呉市二河屋内練習場
協力団体：なし
事業概要（方法）：仮入会員同士の関係を構築し、醸成させる為、セミナーとして運動会を行った。
現役会員と仮入会員のチームに分かれ、チームの関係強化を図った。競技としては長縄跳びや椅子取り競争、呉青年会議所についてのＳＷＯＴ分析やリレーを行った。最後の種目はこれまでの仮入会員期間で学んだＪＣＩクリード暗記テストも兼ねたチーム対抗リレーを行

った。和気あいあいと行うだけではなく、一つの事業として真剣に取り組む姿勢を学ぶ為、各競技の後、最下位のチームにはタイヤ引きの修練を行った。
検証方法と効果：仮入会員同士の関係の醸成、現役会員との関係強化の為に行ったセミナー２は対抗方式の運動会という事で、双方に真剣に取り組む様が見られた。青年会議所の一つ一つに対して真剣に取り組むという事を現役会員の姿から仮入会員が学ぶ事が出来た。現役会員も必死に食らいついてくる仮入会員と活動する事で仮入会員をよりよく知る事が出来、関係を構築する事が出来た。

６．事業名：１０月担当例会
　　日　時：１０月　３日（月）１９：５０～２０：５０
　　場　所：クレイトンベイホテル３階　天の間
　　ＺＯＯＭ配信
　　協力団体：なし
事業概要（方法）：仮入会員期間で培った仮入会員の熱い関係、これまで学んだ事を発表する為に例会を行った。
１．新入会員による仮想事業の発表
仮想事業「カムガック呉事業～呉の夜の街の歩き方～」について、事業の背景や目的、内容についての説明を行った。仮入会員期間で学んだ青年会議所での知識を活かし、自分たちが

呉のまちの問題点を考え、それを解決する為にはどのような事業が効果的か。その集大成として発表を行った。
２．バッジ授与式
理事長より仮入会員にこれから青年会議所会員となった証としてＪＣバッジを授与した。
３．新入会員を代表し、同期会会長から決意表明を行った。
検証方法と効果：４月から半年間の仮入会員期間を経て、１０月例会が行われた。何度も会議を重ね、何度も内容を変更、修正し仮想事業の構築、発表が行われた。呉に対してこんなに真剣に考えた半年はないという新入会員の言葉をもらった。例会の発表では寸劇に特にこだわり、新入会員の考えた呉のまちに対する考え、新入会員の熱い関係性を現役会員に見せる事が出来た。

７．事業名：呉発信事業（公益目的事業：地域魅力再度発見事業）
　　日　時：２０２２年１１月３日（木）１５時００分から２２時００分

場　所：ＡＮＡ　ＳＰＯＲＴＳ　ＨＡＬＬてだこ、ＷＥＢ配信
協力団体：なし

事業概要（方法）：世界会議ジャパンナイトにて呉の夜のまちの魅力の一つであるカレーラーメンを提供した。

公式ＬＩＮＥを用いて事業専用のＬＩＮＥページ「呉の夜のまち」を作成し、様々なワードを入力すると呉青年会議所新入会員が考えたオススメの飲食店の情報が自動返信にて表示されるよう作成した。該当のワードがわからない場合や間違った内容を入力した場合は正しいワード一覧が表示されるようにし、後に呉に来た時にも使えるよう作成した。

呉青年会議所が日本青年会議所の事業でどのような活動を行っているのかを知ってもらう為、ジャパンナイトの様子はＹＯＵＴＵＢＥにてライブ配信した。また事業の準備から当日の様子までをまとめた動画を作成し、ＹＯＵＴＵＢＥにて配信を行った。

検証方法と効果：沖縄で開催された世界会議ジャパンナイトにて「呉ＪＣや呉の魅力について発信する」を目的に事業を行った。

２００食のカレーラーメンを提供した。またＬＩＮＥページを１０８人に登録してもらう事が出来た。　会場でカレーラーメンの感想や事業専用ＬＩＮＥで検索をしてもらった感想を聞いた所、呉に興味を持ったという声を多数いただいた。呉の夜のまちの魅力を発信する事が出来た。ジャパンナイトの様子の動画をアップロードする事で、呉青年会議所の活動を周知する事が出来た。本事業で多くの人に呉ＪＣや呉の魅力について発信する事が出来た。

# 『事業報告』

ＷＯＷ発信委員会
委員長　大田　敏暢

〔スローガン〕わくわく・おどろき・わかちあう

１年間、呉青年会議所として呉市内外の方にホームページやＳＮＳで広報活動をしてまいりました。その際、他委員会と連携するだけでなく、他団体とも協力、連携して魅力ある情報を発信することを目標に活動致しました。

事業で如何に素晴らしい取り組みや活動をしても、その情報が届かなければ共感も感動も生まれません。広報活動が非常に重要であることは言うまでもありません。

そこで、今年の呉青年会議所は今世間で注目されているＳＤＧｓを軸に広報活動を行いました。呉青年会議所＝ＳＤＧｓというイメージを世間に浸透させることにより、呉青年会議所が行っている活動内容がより分かりやすく伝わり、またＳＤＧｓに高い関心を寄せている方々には呉青年会議所活動にも興味を持ってもらえると考えたためです。

そのため、ホームページに於いて呉青年会議所が過去に行った事業について、関連するＳＤＧｓ番号に振り分けて紹介したり、ＳＮＳでは呉青年会議所メンバーや呉市民が行っているＳＤＧｓ活動を紹介する動画を発信したりしました。

広報委員会として対外事業も３つ行いました。

１つ目は「～読みがえる想いと育む未来～」です。これは２００１年に呉青年会議所が行った事業「夢がでてきた～そして～未来へ」で埋めたタイムカプセルの掘り起こしと受け渡しをしながら、２０３０年へ向けた手紙を出すタイムカプセル郵便ブースと、ＳＤＧｓを学ぶブースを設えた事業でした。２つ目は「パートナーシップを最大限に活かせ！～今日から始まる他団体との絆～」です。８月例会に於いて、日本青年会議所がジャパンＳＤＧｓアワードで特別賞を受賞した年に会頭をされていた鎌田長明 歴代会頭を講師としてお招きしました。３つ目は他団体の方々と協力しながら行った「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　ｃｈａｎｇｅ～環境を守るには自分から～」です。呉青年会議所＝ＳＤＧｓのブランディングを目的とし、体験活動を通してＳＤＧｓを学ぶ事業でした。

この１年間の活動で多くの方にＳＤＧｓ、そして呉青年会議所活動の理解を得られたのではないかと思います。

最後に、１年間ともに悩み考えてくれた串山副委員長、瀬野幹事、委員会メンバー、そして親身になってご指導してくださった久保副理事長、要望以上に対応していただいた協力団体の皆さま、興味を持って参加していただいた市民の方々、多数の方にお力添えいただいたおかげで行えた青年会議所活動でした。１年間本当にありがとうございました。

事業報告

１．事業名：事業計画書・会員手帳作成事業

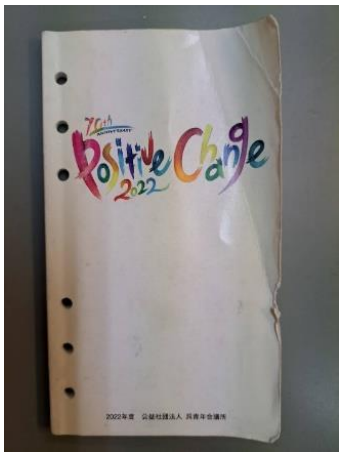
日 時：適宜の日時（２０２２年１月）

場 所：適宜の場所

協力団体：なし

事業概要（方法）：事業計画書を作成し、関係各所４１カ所へ配布した。また、会員手帳を作成し、現役・特別会員をはじめ関係各所へ計３６５部を配布した。

検証方法と効果 ：事業計画書を関係各所へ配布することで２０２２度の方針や事業計画を知っていただく機会となった。また、会員手帳を配布することで、会員相互の交流や特別会員との交流のきっかけになった。




２．事業名： ホームページ更新事業

日　時：適宜選定する

場　所：適宜選定する

協力団体 ：山根優　氏

事業概要（方法）：ホームページのデザインを変更した。変更内容は下記の通りである。

・ＨＯＭＥ画像をメンバーが楽しんでいる様子が伝わるような事業風景などの写真をスライドショーにした。
・呉市中央公園にある想い出の壁を撤去する予定だったため、ホームページに新たに「想い出の壁」ページを作り、実際に貼られている手型の写真を載せた。「ＳＤＧｓの取り組み」ページを作り過去事業をＳＤＧｓの項目別にした。
・呉ＪＣの歴史ページの過去事業を削除し、歴史年表ページとした。
・メンバーに親しみを感じてもらいたいと考えたため、理事役員紹介画像をスーツ姿だけでなく、仕事着、趣味の格好の写真も載せ、スライドショーで切り替わるようにした。
・ホームページの閲覧数を上げるため、ＳＮＳに記事のＵＲＬを記載した投稿を行った。

検証方法と効果：検証方法は昨年度の閲覧数１０％増を目指し行った。

１５５８２ユーザー　　１４．９％増
５８４３６ページビュー　　２２．３％増
７１投稿　　１４４．８％増

前年の約２．５倍記事を投稿した。それによって閲覧者数、ページビューともに１０％以上増加した。ＳＮＳからホームページに誘導するようにした結果だと考える。想い出の壁は呉市中央公園から移設されたが、呉青年会議所のホームページに「想い出の壁」ページを作ったことで写真をいつでも見ることができるようになった。また、例年より多く対外事業の投稿をすることでアクセス数が増加した。

３．事業名：年間広報事業
日　時：適宜選定する
場　所：適宜選定する
協力団体　：なし
事業概要（方法）：呉青年会議所の活動内容、活動している会員に関する情報を市民に知って頂き、呉青年会議所に興味を持ってもらう。また事業の参加募集だけでなく、事業の意図も広報するため、下記の通り執り行った。

・各ＳＮＳで事業告知、事業報告などの投稿を行った。
・画像だけでなく短い動画を投稿した。
・呉青年会議所の２０２２年度総括として５委員会の事業報告を投稿し有料広告を活用した。
・２０２２年度はＳＤＧｓをテーマに広報活動を行い、呉青年会議所メンバー及び市民が行っているＳＤＧｓ活動を短い動画にして投稿した。

検証方法と効果：　検証方法は昨年度のいいねの数１０％増を目指し行った。
Ｉｎｓｔａｇｒａｍ
いいね数　４０９９回　　５．４％増　フォロワー数１５７人増

Ｆａｃｅｂｏｏｋ
いいね数　３８７１回　２４．１％増　フォロワー数１２５人増

呉青年会議所が行ってきた活動の一部を伝えることができた。事業について投稿する際に関連するハッシュタグを多くつけることで、ハッシュタグ検索からのフォロワーも獲得できた。呉青年会議所の活動やメンバーの個人的活動をＳＤＧｓに結び付けて投稿することで、呉青年会議所＝ＳＤＧｓのブランディングの一助となった。

４．事業名：４月担当例会
日　時：２０２２年４月４日（月）２０：２０～２０：５０
場　所：クレイトンベイホテル
協力団体　：なし
事業概要（方法）：委員会の基本方針及び年間事業計画を周知するため、下記の通り執り行った。
１）　ＳＤＧｓに関係するオープニング動画を流した。
２）　委員長より、委員会名及び委員会のスローガンの説明を行った。
３）　当委員会の活動方針である「呉ＪＣ=ＳＤＧｓのブランディング」の説明をし、メンバーに２０２２年度はＳＤＧｓを主軸に広報活動をしていくことを周知した。
４）　幹事より、現在ＳＤＧｓが世間ではどのくらい浸透しているのかをデータを用いて説明した。
５）　委員会メンバーより、ＳＤＧｓについて紙芝居を用いて簡潔に説明をした。
６）　副委員長より、呉ＪＣ=ＳＤＧｓのブランディングをすることのメリットについて、有名企業の取り組みを紹介しながら分かりやすく説明を行った。
７）　呉ＪＣ広報事業の説明と協力のお願いを行った。
８）　委員長挨拶を行った。
検証方法と効果：検証方法はアンケートを実施し、当委員会の基本方針の１００％理解

を達成するという目標に対し、結果は「はい９６％」「いいえ４％」となった。

「ＳＤＧｓについての説明が分かりやすかった」「ブランディングの必要性は理解できた」「委員長の思いが伝わった」といった感想をもらえた。反面、「呉ＪＣ広報事業の詳しい説明が無かった」「メンバーに伝えるべき内容が不足していたように思う」「メンバーにＳＮＳのいいねをお願いするのであれば、気付きやすいようにもっとアナウンスした方が良い」という意見があった。マニュアルを配信する予定だったので、例会では事業内容の説明を簡単にしてあまり時間を割かなかったが、文面でなく口頭で詳しく説明する必要があった。

５．事業名：呉ＪＣ広報事業

「～読みがえる想いと育む未来～」

日　時：２０２２年　４月１６日（土）８：３０～１５：００

２０２２年　４月２９日（金）９：５０～１５：００

２０２２年　４月３０日～同年６月２０日

場　所：掘り起こし　呉市中央公園

事業当日　　呉市中通りＮＡＭＢＡ前

協力団体　：呉中通商店街振興組合

井本建設株式会社

ただ志

寿食堂

旬麺晴れる家

コロスケ

ナポレオン

事業概要（方法）：呉青年会議所の過去の事業を通して呉市民に喜びを届けるため、下記の通り執り行った。

４月１６日の事前掘り起こし・仕分け

２００１年度に行った事業「夢がでてきた～そして～未来へ」で埋めたタイムカプセルを掘り起こした。掘り起こした後、至心幼稚園において、開封作業と仕分けを行った。

４月２９日の受け渡し

ＳＤＧｓブース、タイムカプセル郵便ブース、呉ＪＣ魅力発見ブーツの３つのブースを設置した。

・ＳＤＧｓブースでは、ＳＤＧｓについての説明や、呉ＪＣが過去に行った事業とＳＤＧｓとの関連性について説明を行った。

・タイムカプセル郵便ブースでは、スプラウトペンシルを使用して、２０３０年に届く手紙を書いていただいた。

・呉ＪＣ魅力発信ブースでは、ドライフラワーと風船を用いて、写真を撮ることができるスポットを作成した。このスポットを利用して、チェキの記念撮影をし、２０３０年に届く手紙に同封していただいた。

呉ＪＣの公式ＬＩＮＥアカウントに登録していただき、過去事業に対するＷｅｂアンケートに答えて頂いた方を対象に、呉市の飲食店で使用できる５００円の食事券が当たるガチャガチャを引いていただいた。

検証方法と効果：検証方法はアンケートを実施し、「今回の事業に参加して今後も呉青年会議所の事業に参加したいと思いましたか」に対し「はい」を１００％にすることを目標に行った。

「はい８６件」「いいえ１６件」で、「はい」は８４．３％となった。

事前に掘り起こし、事前に仕分けをしたことで参加者へ無事に受け渡しできた。ＳＤＧｓブースでは、呉青年会議所がＳＤＧｓを推奨している団体だと認識してもらえた。タイムカプセル郵便ブースでは、スプラウトペンシルを使用し体験することでＳＤＧｓを知り興味を持ってもらえた。過去事業を通じて様々な方に呉青年会議所を広報することができた。公式ＬＩＮＥを登録してもらうことによりフォロワー数を獲得できた。当日来ることが出来ない方にも後日渡すことができ、より多くの呉市民に喜びを届けることができた。

６．事業名：８月担当例会

「パートナーシップを最大限に活かせ！　～今日から始まる他団体との絆～」

日　時：８月１日（月）１９：３０～２１：００

場　所：クレイトンベイホテル・ＺＯＯＭ配信

協力団体　：日本ＪＣシニア・クラブ　鎌田長明　氏

事業概要（方法）：鎌田長明歴代会頭をお招きし講演していただいた。

話して頂く内容構成は

１）青年会議所はＳＤＧｓの理念と近い目標を掲げている国際団体ということ

２）青年会議所の事業構築の正しい方法

３）日本青年会議所でＳＤＧｓを推進した想いや経験談

４）パートナーシップの重要性

・オープン例会とし、呉市及び呉市近郊にお住まいの方をお呼びした。他ＬＯＭやＯＢは先着で４８名参加可能とした。

検証方法と効果：アンケートを実施し、「ＳＤＧｓについて理解を深めることは出来ましたか？」の質問に対して「はい」を１００％にすることを目標に行った。

外部　はい　１００％　いいえ　０％

内部　はい　７２．２％　いいえ　２７．８％

参加者にＳＤＧｓの理解を深めてもらうことが出来た。一般参加者に青年会議所活動に賛同、参加協力したいと思ってもらえることが出来た。近年入会者が多い中で青年会議所の理解を深められた。

７．事業名：呉ＪＣブランディング事業
「Ｐｏｓｉｔｉｖｅ　ｃｈａｎｇｅ ～環境を守るには自分から～」
日　時：２０２２年　９月２５日（日）９：００～１４：３５
場　所：倉橋町　桂浜海岸、桂浜温泉館２Ｆ　なぎさホール
協力団体　：呉市（後援）
Ｔｅａｍ　「仁」（呉市市民公益活動団体）
倉橋の海とくらしを守る会（呉市市民公益活動団体）
倉橋地区公衆衛生推進協議会（呉市市民公益活動団体）
阿賀もんジャ研（呉市市民公益活動団体）
倉橋町内会
倉橋市民センター
一般社団法人イエロー ピン プロジェクト
事業概要（方法）：呉青年会議所を広く市民に周知するためにブランディングするよう、下記の通りに執り行った。

・ビーチクリーン
スカベンジャーミッションと題してミッションをこなし楽しみながらビーチクリーンを行ってもらった。

・映画鑑賞
実際にアメリカの小学生５年生が起こしたプラスチック製品廃止の運動の映画を見てもらった。

・ワークショップ
ちりめんモンスターと題したちりめんじゃこに混ざっている生き物を探しと、プラスチックごみをキーホルダーに作り替えるアップサイクルを行った。

各所で学習シートに記入していただくことでＳＤＧｓや環境問題について考える機会を作った。
参加者にはプラスチックごみ削減の一助にしてもらうため呉氏オリジナルエコバッグを贈呈した。

検証方法と効果：検証方法はアンケートを実施し、「呉青年会議所は地域をより良くする為、主にＳＤＧｓに沿った活動をしています。呉青年会議所の活動に興味を持ちましたか？」「今後も呉青年会議所の事業に参加・協力したいと思いましたか？」に対し「はい」の回答１００％を目指し行った。

結果は「はい１１件」「いいえ１件」となり、「はい」は９１．７％となった。

ビーチクリーンの時間では実際に海にゴミが大量に落ちている現状を見てもらい清掃活動を行うことで、環境問題についてより身近に感じてもらい自分事として考えてもらうことができた。映画鑑賞やワークショップを通して楽しく学んでもらい、意識改革やＳＤＧｓに対する興味関心が高まった。外部協力者等の方にＩｎｓｔａｇｒａｍで事業後に作成した動画を広報していただいた。

８．事業名：年間事業報告作成

場 所：適宜の場所

協力団体：なし

事業概要（方法）：一年間の事業活動をもとに各理事がワードにて作成し、収集・製本して各所へ配布した。また、ＰＤＦ化したデジタルデータをホームページ上に掲載した。配布については、ホームページに掲載後に現役・特別会員、関係諸団体に案内した。

# 『事業報告』

ＤｒａｇｏｎＦｌｙ総務委員会
委員長　藤井　啓

〔スローガン〕視野を広く

自分を含めたＪＣメンバー全員が「視野を広く」持てるようにと全力で取り組んだ１年でした。

視野を広げるためには、他者の視点を知ることが肝要と考え例会に盛り込んだ「３分間スピーチ」は、「仕事」というテーマで抽選式にて実践。３分間に凝縮された他者の視点を共有していただく機会であると共に、スピーチについての聞き取り易さ等をアンケートでフィードバックする事でスピーチ担当者にも他者の視野を共有する相互作用を齎したと考えています。

例会食はＳＤＧｓの一環として地産地消である「地元の魚」を中心に取り入れ、スライドで当日の魚について紹介する事で視野を広げる機会としました。

もう一点、視野を広げる機会の損失を失くす為に、メイク対象事業の案内も欠かさず行い出席を促しました

上記３点を「視野を広く」する設えとした以外にも、ＺＯＯＭや司会など役割をしっかりと果たす事で、担当委員会が滞りなく報告できるように努めました。

今年は７０周年という節目の年であり、「新年互礼会」「高知合同例会」「創立記念日例会」といった例会が特に注目される為、力を入れて取り組みました。新年互礼会では「清盛太鼓」、高知合同例会では「川尻筆」「日本酒」、創立記念日例会では「藤井清水（歌）」等をゲームやパフォーマンスとして呉の文化を内外に知っていただき、楽しんで頂く等、自身が知って欲しい事や知りたい事を貪欲に取り上げた事が実を結び、高知ＪＣからはゲームの設えを取り入れたいとお申し出があり、日本青年会議所会頭からは大分ＪＣが来年７０周年で参考にしたいと実行委員長を紹介頂きました。

沢山の経験をし、この１年で私自身は確実に視野が広がったと感じています。そしてＪＣメンバー全員が視野の広がりを感じていると信じております。

最後に、活動をサポートしてくれた委員会メンバーの皆と、疑問や不安に都度答え、導いてくださった久保副理事長にこの場を借りて感謝申し上げます。

事業報告

１．事業名：例会運営

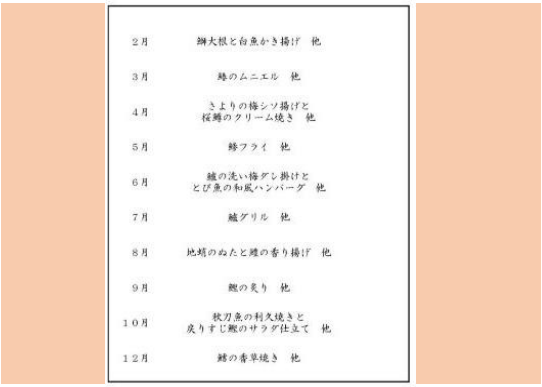
日　時：毎例会

場　所：クレイトンベイホテル・ＺＯＯＭ配信

協力団体　：なし

事業概要（方法）：毎例会に於いて、資料作成・会場設営・運営・司会・議事録作成・を行った。定款の定めを遵守し、会員全員による呉青年会議所の最重要事項の意思決定を円滑に行えるように例会の運営に努めた。メンバー全員の視野を広げることを目標とし、「仕事」をテーマにした３分間スピーチ・旬の魚の例会食・メイク対象事業案内を取り入れた。現地参加が難しいメンバーへ向けてＺＯＯＭ配信を行った。

検証方法と効果：検証方法は例会出席率とした。ＺＯＯＭ配信を行い現地参加できないメンバーにフォローを行った。ＫＰＩの「欠席者に対し、各委員長が必ず電話連絡で声掛け・フォローし、出席率向上を目指すこと」では、実際委員長による声かけで参加を表明した者もおり、出席率は向上した。具体的には委員会毎の１００％出席率達成が２５回であった。



| | |
|---|---|
| 2月 | 鰤大根と白魚かき揚げ　他 |
| 3月 | 鰆のムニエル　他 |
| 4月 | さよりの梅シソ揚げと<br>桜鱒のクリーム焼き　他 |
| 5月 | 鰆フライ　他 |
| 6月 | 鰹の洗い梅ダレ掛けと<br>とび魚の和風ハンバーグ　他 |
| 7月 | 鰹グリル　他 |
| 8月 | 地蛸のぬたと鰹の香り揚げ　他 |
| 9月 | 鯉の炙り　他 |
| 10月 | 秋刀魚の利久焼きと<br>炙りすじ鯉のサラダ仕立て　他 |
| 12月 | 鰆の香草焼き　他 |

２．事業名：新年互礼会

日　時：２０２２年1月８日（土）１９：００～２１：００

場　所：クレイトンベイホテル・ＺＯＯＭ配信

協力団体　：なし

事業概要（方法）：

【構成】

通常のセレモニー

船の出航をイメージした理事長出演ＶＴＲ

音戸清盛太鼓の演奏及び理事長による旗振り演舞

理事長所信表明　：糸谷　知剛　　君

特別会員会筆頭代表幹事挨拶：大之木　小兵衛　先輩

来賓挨拶

呉市長　：新原　芳明　　様

呉商工会議所　会頭　：神津　善三朗　様

教育長　：寺本　有伸　　様

呉市社会福祉協議会　会長　：中本　克州　　様

乾杯　：神田　真生　　先輩

懇親会および賀詞交換

音戸清盛太鼓による太鼓演奏

理事役員紹介

出向者代表挨拶　：松村　和樹　君

担当副理事長謝辞　：久保　大乗　君

明日のために斉唱

一丁締め　：城戸　常太　先輩

検証方法と効果：例会中及び例会後、現役会員に対して、来賓・特別会員の方に２０２２年度のスローガンを伝えることが出来たのかヒアリングを行った。現役会員１０名に聞いたところ、全員が伝えることが出来たと回答した。「引き締まった例会であった」「理事長の今年の想いが伝わった」「しっかりと練習ができていた」「理事長が上手に話をしていた」との意見をいただき、スローガンをはじめとして例会自体への高評価や、理事長への良い印象を伝えられたことが分かった。

３．事業名：高知合同例会

日　時：２０２２年６月４日（土）

場　所：クレイトンベイホテル・ＺＯＯＭ配信

協力団体　：なし

事業概要（方法）：

【構成】

通常のセレモニー（高知と合同）

高知青年会議所　副理事長：川渕　公太　　君

呉青年会議所　　副理事長：下中　嘉也　　君

高知青年会議所　副理事長：林　太紀　　君

呉青年会議所　　副理事長：小田　晃士朗　君

高知青年会議所　事務局長：山本　俊之　　君

呉青年会議所　　副理事長：志々田　裕介　君

高知シニアクラブ、呉特別会員紹介

呉青年会議所理事長挨拶　：　糸谷　知剛　君

高知青年会議所理事長挨拶：　黒瀬　裕之　君

呉青年会議所特別会員会　筆頭代表幹事挨拶：大之木　小兵衛　先輩

高知青年会議所シニアクラブ　代表挨拶　　：和泉　潤　　先輩

高知青年会議所　呉青年会議所　理事会報告

委員会紹介（各委員会１分程度）

３分間スピーチ

呉青年会議所　：藤井　啓　君

高知青年会議所：吉岡　亮　君

呉青年会議所監事講評　：井田　大敬　　先輩

高知青年会議所監事講評：三谷　哲生　先輩

乾杯挨拶

呉青年会議所　：神田 真生 先輩

高知青年会議所：山本 剛義 先輩

高知・呉ＰＲ動画

高知・呉ＪＣ格付けチェック２０２２

兄弟歌斉唱

明日のために斉唱

謝辞・中締め　呉青年会議所　副理事長：久保 大乗　君

検証方法と効果：参加者の内、呉青年会議所のメンバーに対しＷＥＢアンケートを実施し、４７名の回答があった。「高知と呉の兄弟の絆が今まで以上に深まったと感じますか」という設問に対し、その内９３．６％が「はい」と回答した。２年間のブランクを埋めるべく考えた設えが良く作用したと考える。また「今後のＪＣの運営に活かせる意見がありましたか」という設問に対しては、「７８．７％」が「はい」と回答があった。

他、例会・懇親会については「大変すばらしい例会だった」「高知の方がおもしろい企画ですねとおっしゃってくださった」「しっかり交流できた」と良い意見を沢山いただいた。一方、二次会について「懇親会以降の流れが分からなかった」といった意見があり、事前説明が不足していたと考える。

４．事業名：創立記念日例会

日　時：２０２２年１１月１２日（土）１９：００～２１：１５

場　所：クレイトンベイホテル・ＺＯＯＭ配信

協力団体　：なし

事業概要（方法）：

【構成】

第一部

調印式

通常のセレモニー

物故会員追悼

御来賓紹介、特別会員紹介、来訪ＪＣ紹介

理事長挨拶：糸谷　知剛

特別会員会　筆頭代表幹事挨拶　　：大之木　小兵衛　先輩

御来賓祝辞

呉市長　　：新原　芳明　　様

海上自衛隊　呉地方総監　海将：伊藤　弘　　様

公益社団法人　日本青年会議所：会頭　中島　土　君

祝電披露

スポンサーＪＣ表彰

歴代理事長バッチ進呈

第二部

鏡開き

呉商工会議所　会頭　　：若本　祐昭　　様

海上自衛隊　呉地方総監　海将　　：伊藤　弘　　様

公益社団法人　日本青年会議所　会頭：中島　土　　君

呉青年会議所特別会員会筆頭代表幹事：大之木小兵衛　先輩

呉青年会議所理事長　　：糸谷　知剛　　君

呉青年会議所　直前理事長　　：神田　真生　　先輩

乾杯挨拶：神田　真生　先輩

オープニング動画

サンドアート

歓談（食事は魚を中心とした会食形式。呉・那覇・高知の屋台ブース）

ピアノ演奏

担当副理事長挨拶　呉青年会議所担当副理事長：久保　大乗　君

「明日のために」斉唱

一丁締め　呉青年会議所特別会員　　：三宅　清嗣　先輩

検証方法と効果：事業後のアンケートにて、呉青年会議所の現役メンバーに対し、呉青年会議所の理念を再認識し、今後のより高度な地域貢献活動の実現に資することが出来たか、また呉青年会議所と呉市とのパートナーシップを感じることができたかどうかアンケートを採った。３９件の回答があり、うち８９．７％が前者の問いに「できた」と答えた。また後者の問いには９２．３％が「できた」と回答し、おおむね事業目的が達成できたと考える。

１時間の中に沢山の内容を盛り込む必要があった為、手順や来賓挨拶の人数など厳選し、取捨選択することも多かった。例会終了後、ボリュームある式典を１時間で完結させて素晴らしかったと他のＬＯＭからお褒めの言葉をいただいた。

５．事業名：１２月第１例会（次年度担当例会）

日　時：２０２２年１２月５日（月）１９：００～２１：００

場　所：クレイトンベイホテル・ＺＯＯＭ配信

協力団体　：なし

事業概要（方法）：

【構成】理事長・専務登壇

スローガン披露

理事長所信及び基本方針の説明
正副役員等紹介
出向者紹介
委員会ミーティングタイム
委員会紹介
（５委員会、事務局及びセクレタリー）
同好会紹介
（６同好会）
監事講評
若い我等斉唱

検証方法と効果：ＷＥＢアンケートをとり、理事長の所信表明、委員長所信、出向者の思い、次年度への意欲の向上、同好会への参加希望の有無等様々な項目で良い結果がでた。次年度を迎える上でしっかりと周知ができ、良い門出となる例会となった。

６．事業名：１２月第２例会（卒業式・納会・卒業送別会）
日　時：２０２２年１２月１７日（土）１８：００～２１：００
場　所：クレイトンベイホテル・ＺＯＯＭ配信
協力団体　：なし
事業概要（方法）：

【構成】
ー卒業式ー
卒業生入場
　　時岡　秀直　君
　　糸谷　知剛　君
　　大下　典之　君
　　川本　昌生　君
　　盛谷　剛　　君
　　國久保　純　君
　　塩見　良一　君
　　渡部　和晃　君
　　藤井　啓　　君
　　髙村　涼　　君
通常のセレモニー
理事長挨拶　　：糸谷　知剛　君
卒業生紹介、感謝状授与並びに卒業生挨拶
送辞朗読　副理事長　：小田　晃士朗　君
答辞朗読　卒業生代表：國久保　純　君
移動・卒業生写真撮影
ー納会ー
総括動画
理事長総括スピーチ　：糸谷　知剛　　君
プレジデンシャルリース伝達
理事長予定者挨拶　　：志々田　裕介　君
ＪＣ旗伝達
特別会員会　筆頭代表幹事　挨拶：大之木 小兵衛　先輩
ー懇親会ー
卒業生入場
特別会員紹介
乾杯
歓談
卒業生へメッセージ動画
　　岡本　大正　君
　　藤井　聖　　先輩
　　北川　晋作　先輩
　　奥原　祥司　先輩

後迫　崇史　先輩
井本　成一　先輩
木内　裕之　先輩
三戸　規弘　君
井本　成一　先輩

卒業生の演出
歓談
副理事長謝辞、中締め：久保　大乗　君
明日のために斉唱
一本締め

検証方法と効果：「卒業生の功績をたたえ、後を受け継ぐメンバーとの絆を再認識し深めていただく。」ことを目的とし実施した例会であった。現役に向けたアンケート２８件の内、卒業生を気持ちよく送り出すことが出来たと回答したのは２８件中２７件で、回答した全員が「今年度の総括を受け次年度へ前向きな気持ちになった」、続けて「卒業生との絆を再認識でき、絆が深まったと感じた」と選択し、目的を達成できたと考える。

また卒業生に向けたアンケートでは８件の回答があり、全員が「気持ちよく卒業」でき、「特別会員として前向きな気持ちになった」、「後を受け継ぐメンバーと絆が深まった」と回答した。

上記を受け、この度の例会は旅立つ者、見送る者双方にとって良いセレモニーになったと考える。特に卒業生からは自由記述で素晴らしい例会だった、カッコいい最高の卒業式だった、設えが素晴らしかったと絶賛いただいた。

# 公益社団法人　呉青年会議所

## 会計報告書

自　　2022年1月1日
至　　2022年12月31日

【呉青年会議所】

# 貸　借　対　照　表

2022年12月31日現在

（単位：円）

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | |
| 1.　流動資産 | | | |
| 現金預金 | 2,311,036 | 3,345,828 | -1,034,792 |
| 未収金 | 1,175,830 | 955,937 | 219,893 |
| 貯蔵品 | 31,000 | 23,400 | 7,600 |
| △貸倒引当金 | 47,000 | 38,000 | 9,000 |
| 流動資産合計 | 3,470,866 | 4,287,165 | -816,299 |
| 2.　固定資産 | | | |
| (1) 特定資産 | | | |
| 周年事業積立資産 | 1,200,000 | 6,450,000 | -5,250,000 |
| 退職給付引当資産 | 2,472,000 | 2,418,000 | 54,000 |
| 特定資産合計 | 3,672,000 | 8,868,000 | -5,196,000 |
| 固定資産合計 | 3,672,000 | 8,868,000 | -5,196,000 |
| 資産合計 | 7,142,866 | 13,155,165 | -6,012,299 |
| Ⅱ　負債の部 | | | |
| 1.　流動負債 | | | |
| 未払金 | 44,278 | 38,000 | 6,278 |
| 預り金 | 650,929 | 1,466,486 | -815,557 |
| 流動負債合計 | 695,207 | 1,504,486 | -809,279 |
| 2.　固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 2,472,000 | 2,418,000 | 54,000 |
| 固定負債合計 | 2,472,000 | 2,418,000 | 54,000 |
| 負債合計 | 3,167,207 | 3,922,486 | -755,279 |
| Ⅲ　正味財産の部 | | | |
| 1.　指定正味財産 | 0 | 0 | 0 |
| 2.　一般正味財産 | 3,975,659 | 9,232,679 | -5,257,020 |
| （うち特定資産への充当額） | （　1,200,000　） | （　6,450,000　） | （　-5,250,000　） |
| 正味財産合計 | 3,975,659 | 9,232,679 | -5,257,020 |
| 負債及び正味財産合計 | 7,142,866 | 13,155,165 | -6,012,299 |

【呉青年会議所】

# 正味財産増減計算書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

（単位：円）

| 勘定科目 | 本年度決算 | 前年度決算 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ．一般正味財産増減の部 | | | |
| １．経常増減の部 | | | |
| （１）経常収益 | | | |
| 特定資産運用益 | （　　） | （　　0） | （　　0） |
| 受取入会金 | （　1,350,000） | （　1,425,000） | （　-75,000） |
| 受取入会金 | 1,350,000 | 1,425,000 | -75,000 |
| 受取会費 | （　12,045,000） | （　11,865,000） | （　180,000） |
| 普通会員受取会費 | 7,800,000 | 7,575,000 | 225,000 |
| 特別会員受取会費 | 4,245,000 | 4,290,000 | -45,000 |
| 事業収益 | （　208,000） | （　158,000） | （　50,000） |
| 登録料収入 | 208,000 | 158,000 | 50,000 |
| 受取補助金等 | （　　0） | （　172,280） | （　-172,280） |
| 補助金収入 | 0 | 172,280 | -172,280 |
| 販売金 | （　　0） | （　　0） | （　　0） |
| 販売収入 | 0 | 0 | 0 |
| 受取寄付金 | （　386,000） | （　1,080,000） | （　-694,000） |
| 寄付金収入 | 386,000 | 1,080,000 | -694,000 |
| 雑収益 | （　395,241） | （　287,795） | （　107,446） |
| 受取利息 | 141 | 195 | -54 |
| 雑収入 | 395,100 | 287,600 | 107,500 |
| 経常収益計 | （　14,384,241） | （　14,988,075） | （　-603,834） |
| （２）経常費用 | | | |
| 事業費 | （　14,045,583） | （　8,857,500） | （　5,188,083） |
| 給与手当 | 1,519,550 | 1,519,550 | 0 |
| 福利厚生費 | 541,366 | 340,216 | 201,150 |
| 旅費交通費 | 142,360 | 0 | 142,360 |
| 通信運搬費 | 287,409 | 206,752 | 80,657 |
| 消耗品費 | 1,954,441 | 316,578 | 1,637,863 |
| 印刷製本費 | 1,304,112 | 1,057,014 | 247,098 |
| 光熱水料費 | 62,773 | 44,783 | 17,990 |
| 賃借料 | 677,970 | 677,970 | 0 |
| 保険料 | 120,980 | 40,700 | 80,280 |
| 諸謝金 | 1,463,200 | 54,400 | 1,408,800 |
| 支払助成金 | 80,000 | 80,000 | 0 |
| 委託費 | 3,270,658 | 551,530 | 2,719,128 |
| 会場費 | 721,200 | 688,380 | 32,820 |
| レンタル料 | 341,050 | 139,500 | 201,550 |
| 記念品費 | 959,947 | 2,515,139 | -1,555,192 |
| 広告費 | 492,367 | 518,788 | -26,421 |
| 清掃費 | 79,200 | 79,200 | 0 |
| 退職給付費用 | 27,000 | 27,000 | 0 |

【呉青年会議所】

# 正味財産増減計算書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

（単位：円）

| 勘定科目 | 本年度決算 | 前年度決算 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 管理費 | ( 4,675,891 ) | ( 4,332,430 ) | 343,461 |
| 給与手当 | 1,519,550 | 1,519,550 | 0 |
| 福利厚生費 | 266,237 | 257,216 | 9,021 |
| 会議費 | 39,850 | 78,650 | -38,800 |
| 通信運搬費 | 287,372 | 235,971 | 51,401 |
| 消耗品費 | 136,546 | 94,412 | 42,134 |
| 印刷製本費 | 41,184 | 27,984 | 13,200 |
| 光熱水料費 | 62,772 | 44,782 | 17,990 |
| 賃借料 | 677,970 | 677,970 | 0 |
| 諸謝金 | 143,990 | 111,000 | 32,990 |
| 租税公課 | 21,000 | 21,000 | 0 |
| 支払手数料 | 202,172 | 179,696 | 22,476 |
| 清掃費 | 79,200 | 79,200 | 0 |
| 図書費 | 165,750 | 159,750 | 6,000 |
| 諸会費 | 815,285 | 778,074 | 37,211 |
| 退職給付費用 | 27,000 | 27,000 | 0 |
| 貸倒引当金繰入額 | 9,000 | 14,000 | -5,000 |
| 雑費 | 181,013 | 26,175 | 154,838 |
| 経常費用計 | ( 18,721,474 ) | ( 13,189,930 ) | ( 5,531,544 ) |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 【 -4,337,233 】 | 【 1,798,145 】 | 【 -6,135,378 】 |
| 評価損益等計 | ( 0 ) | ( 0 ) | ( 0 ) |
| 当期経常増減額 | 【 -4,337,233 】 | 【 1,798,145 】 | 【 -6,135,378 】 |
| ２．経常外増減の部 | | | |
| （１）経常外収益 | | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 | 0 | |
| 経常外収益計 | ( 0 ) | ( 0 ) | ( 0 ) |
| （２）経常外費用 | | | |
| 会費等回収不能額 | 919,787 | 0 | 919,787 |
| 経常外費用計 | ( 919,787 ) | ( 0 ) | ( 919,787 ) |
| 当期経常外損益増減額 | 【 -919,787 】 | 【 0 】 | 【 -919,787 】 |
| 指定正味財産からの振替額 | ( 0 ) | ( 0 ) | ( 0 ) |
| 当期一般正味財産増減額 | 【 -5,257,020 】 | 【 1,798,145 】 | 【 -7,055,165 】 |
| 一般正味財産期首残高 | 9,232,679 | 7,434,534 | 1,798,145 |
| 一般正味財産期末残高 | 3,975,659 | 9,232,679 | -5,257,020 |
| Ⅱ．指定正味財産増減の部 | | | |
| 特定財産運用益 | | | |
| 預金利息収入 | ( 0 ) | ( 0 ) | ( 0 ) |
| 一般正味財産への振替額 | ( 0 ) | ( 0 ) | ( 0 ) |
| 当期指定正味財産増減額 | 【 0 】 | 【 0 】 | 【 0 】 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅲ．正味財産期末残高 | 【 3,975,659 】 | 【 9,232,679 】 | 【 -5,257,020 】 |

【呉青年会議所】

# 正味財産増減計算書内訳表

2022年1月1日から2022年12月31日まで

（単位：円）

| 科目 | 公益目的事業等会計 | | | 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引消去 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 公1 | 共通 | 小計 | 他1 | 共通 | 小計 | | | |
| Ⅰ．一般正味財産増減の部 | | | | | | | | | |
| 1．経常増減の部 | | | | | | | | | |
| （1）経常収益 | | | | | | | | | |
| ①特定資産運用益 | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) |
| ②受取入会金 | ( 1,350,000 ) | | ( 1,350,000 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 1,350,000 ) |
| 受取入会金 | 1,350,000 | | 1,350,000 | | | 0 | 0 | | 1,350,000 |
| ③受取会費 | ( 6,022,500 ) | | ( 6,022,500 ) | ( 1,419,184 ) | | ( 1,419,184 ) | ( 4,603,316 ) | | ( 12,045,000 ) |
| 普通会員受取会費 | 3,900,000 | | 3,900,000 | 918,212 | | 918,212 | 2,981,788 | | 7,800,000 |
| 特別会員受取会費 | 2,122,500 | | 2,122,500 | 500,972 | | 500,972 | 1,621,528 | | 4,245,000 |
| ④事業収益 | ( 208,000 ) | | ( 208,000 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 208,000 ) |
| 登録料収入 | 208,000 | | 208,000 | | | 0 | | | 208,000 |
| ⑤受取補助金等 | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) |
| 補助金収入 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| ⑥販売金 | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) |
| 販売金収入 | | | 0 | | | | | | 0 |
| ⑦受取寄付金 | ( 386,000 ) | | ( 386,000 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 386,000 ) |
| 寄付金収入 | 386,000 | | 386,000 | | | | | | 386,000 |
| ⑧雑収益 | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 0 ) | | ( 0 ) | ( 395,241 ) | | ( 395,241 ) |
| 受取利息 | | | | | | 0 | 141 | | 141 |
| その他収益 | | | | | | 0 | 395,100 | | 395,100 |
| 経常収益計 | 7,966,500 | 0 | 7,966,500 | 1,419,184 | | 1,419,184 | 4,998,557 | 0 | 14,384,241 |
| （2）経常費用 | | | | | | | | | |
| 事業費 | ( 12,626,399 ) | | ( 12,626,399 ) | ( 1,419,184 ) | | ( 1,419,184 ) | | | ( 14,045,583 ) |
| 給与手当 | 1,519,550 | | 1,519,550 | | | 0 | | | 1,519,550 |
| 福利厚生費 | 413,617 | | 413,617 | 127,749 | | 127,749 | | | 541,366 |
| 旅費交通費 | 142,360 | | 142,360 | | | 0 | | | 142,360 |
| 通信運搬費 | 249,617 | | 249,617 | 37,792 | | 37,792 | | | 287,409 |
| 消耗品費 | 1,820,754 | | 1,820,754 | 133,687 | | 133,687 | | | 1,954,441 |
| 印刷製本費 | 756,556 | | 756,556 | 547,556 | | 547,556 | | | 1,304,112 |
| 光熱水料費 | 62,773 | | 62,773 | | | 0 | | | 62,773 |
| 賃借料 | 677,970 | | 677,970 | | | 0 | | | 677,970 |
| 保険料 | 120,980 | | 120,980 | | | 0 | | | 120,980 |
| 諸謝金 | 1,383,200 | | 1,383,200 | 80,000 | | 80,000 | | | 1,463,200 |
| 租税公課 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| 支払助成金 | 80,000 | | 80,000 | | | 0 | | | 80,000 |
| 委託費 | 3,069,658 | | 3,069,658 | 201,000 | | 201,000 | | | 3,270,658 |
| 会場費 | 461,800 | | 461,800 | 259,400 | | 259,400 | | | 721,200 |
| レンタル料 | 341,050 | | 341,050 | | | 0 | | | 341,050 |
| 記念品費 | 947,947 | | 947,947 | 12,000 | | 12,000 | | | 959,947 |
| 広告費 | 472,367 | | 472,367 | 20,000 | | 20,000 | | | 492,367 |
| 清掃費 | 79,200 | | 79,200 | | | 0 | | | 79,200 |
| 退職給付費用 | 27,000 | | 27,000 | | | 0 | | | 27,000 |
| 雑費 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| 管理費 | ( ) | | ( ) | ( ) | | ( ) | ( 4,675,891 ) | | ( 4,675,891 ) |
| 給与手当 | | | | | | | 1,519,550 | | 1,519,550 |
| 福利厚生費 | | | | | | | 266,237 | | 266,237 |
| 会議費 | | | | | | | 39,850 | | 39,850 |
| 旅費交通費 | | | | | | | 0 | | 0 |
| 通信運搬費 | | | | | | | 287,372 | | 287,372 |
| 消耗品費 | | | | | | | 136,546 | | 136,546 |
| 修繕費 | | | | | | | | | 0 |
| 印刷製本費 | | | | | | | 41,184 | | 41,184 |
| 燃料費 | | | | | | | | | 0 |
| 光熱水料費 | | | | | | | 62,772 | | 62,772 |
| 賃借料 | | | | | | | 677,970 | | 677,970 |
| 保険料 | | | | | | | | | 0 |
| 謝礼金 | | | | | | | 143,990 | | 143,990 |
| 租税公課 | | | | | | | 21,000 | | 21,000 |
| 支払手数料 | | | | | | | 202,172 | | 202,172 |
| 清掃費 | | | | | | | 79,200 | | 79,200 |
| 図書費 | | | | | | | 165,750 | | 165,750 |
| 諸会費 | | | | | | | 815,285 | | 815,285 |
| 退職給付費用 | | | | | | | 27,000 | | 27,000 |
| 貸倒引当金繰入額 | | | | | | | 9,000 | | 9,000 |
| 雑費 | | | | | | | 181,013 | | 181,013 |
| 経常費用計 | 12,626,399 | 0 | 12,626,399 | 1,419,184 | 0 | 1,419,184 | 4,675,891 | 0 | 18,721,474 |
| 当期経常増減額 | -4,659,899 | 0 | -4,659,899 | 0 | 0 | 0 | 322,666 | 0 | -4,337,233 |
| 2．経常外増減の部 | | | | | | | | | |
| （1）経常外収益 | | | | | | | | | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| （2）経常外費用 | | | | | | | | | |
| 会費等回収不能額 | | | 0 | | | | 919,787 | | 919,787 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 919,787 | 0 | 919,787 |
| 当期経常外損益増減額 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | -919,787 | | -919,787 |
| 指定正味財産からの振替 | | | 0 | 0 | | 0 | | | 0 |
| 他会計振替額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | -4,659,899 | 0 | -4,659,899 | 0 | 0 | 0 | -597,121 | 0 | -5,257,020 |
| 一般正味財産期首残高 | 2,401,455 | | 2,401,455 | 0 | | 0 | 6,831,224 | | 9,232,679 |
| 一般正味財産期末残高 | -2,258,444 | | -2,258,444 | 0 | | 0 | 6,234,103 | | 3,975,659 |
| Ⅱ．指定正味財産増減の部 | | | | | | | | | |
| 一般正味財産への振替 | | | 0 | | | 0 | 0 | | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | | | 0 | | | 0 | 0 | | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 |
| Ⅲ．正味財産期末残高 | -2,258,444 | | -2,258,444 | 0 | | 0 | 6,234,103 | | 3,975,659 |

# 財務諸表に対する注記

## Ⅰ 重要な会計方針

引当金の計上基準

退職給付引当金　職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上しております。

消費税等の会計処理　消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

## Ⅱ 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|---|
| 【特定資産】 | | | | |
| 周年事業積立資産 | 6,450,000 | 1,200,000 | 6,450,000 | 1,200,000 |
| 退職給付引当資産 | 2,418,000 | 54,000 | 0 | 2,472,000 |
| 合計 | 8,868,000 | 1,254,000 | 6,450,000 | 3,672,000 |

## Ⅲ 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科目 | 当期末残高 | （うち指定正味財産からの充当額） | （うち一般正味財産からの充当額） | （うち負債に対応する額） |
|---|---|---|---|---|
| 【特定資産】 | | | | |
| 周年事業積立資産 | 1,200,000 | （ — ） | （ 1,200,000 ） | （ — ） |
| 退職給付引当資産 | 2,472,000 | （ — ） | （ — ） | （ 2,472,000 ） |
| 合計 | 3,672,000 | — | 1,200,000 | 2,472,000 |

## Ⅳ その他

・未収会費の回収不能額の計上については、3ヶ年を超えて支払請求を通知したにもかかわらず、支払意思の表示が全く確認されないものを計上処理している。

# 附属明細書

Ⅰ　特定資産の明細
注記に記載しているため、省略する。

Ⅱ　引当金の明細　（単位:円）

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 2,418,000 | 54,000 | 0 | 0 | 2,472,000 |

# 財産目録

2022年12月31日現在

（単位：円）

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---|---|---|---|---|
| （流動資産） | 現金 | 手元保管 | 運転資金として | 910,018 |
| | 預金 | 【普通預金】 | | |
| | | 呉信用金庫本店営業部 | 運転資金として | 249,383 |
| | | 呉信用金庫本店営業部 | 運転資金として | 334,826 |
| | | もみじ銀行呉営業部 | 運転資金として | 170,491 |
| | | 広島銀行呉支店 | 運転資金として | 646,318 |
| | | | 〈現金・預金計〉 | 2,311,036 |
| | 未収金 | 現役会員20名<br>特別会員7名 | 当会計期間内に会員が納入すべき会費等の未収分である | 1,175,830 |
| | | 貸倒引当金 | | △ 47,000 |
| | | | 〈未収金計〉 | 1,128,830 |
| | 貯蔵品 | JCバッチ15個 | | 31,000 |
| | | | 〈貯蔵品計〉 | 31,000 |
| **流動資産合計** | | | | **3,470,866** |
| （固定資産）<br>特定資産 | 周年事業積立資産 | 【普通預金】 | | |
| | | 呉信用金庫本店営業部 | No1039248<br>周年事業の積立資金として管理している | 1,200,000 |
| | 退職給付引当資産 | 【定期預金】 | | |
| | | 広島銀行呉支店 | No3045298<br>職員退職給付の引当資産として管理している | 2,472,000 |
| | | | 〈特定資産計〉 | 3,672,000 |
| **固定資産合計** | | | *うち特定資産* | 3,672,000 |
| **資産合計** | | | | **7,142,866** |
| （流動負債） | 未払金 | ㈲空本印刷所 | 2022年度事業報告書作成費 | 44,278 |
| | 預り金 | 現役会員 | 普通会員個人が負担すべき例会食事代及び登録料等の支払いのための預り金である | 459,716 |
| | | 源泉所得税・市民税・社会保険料 | 職員の給与より源泉徴収した源泉所得税及び県市民税、社会保険料 | 191,213 |
| | | | 〈未払金・預り金計〉 | 695,207 |
| **流動負債合計** | | | | **695,207** |
| （固定負債） | 退職給付引当金 | 職員分 | 【退職給付引当金】<br>公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員1名分の退職給付金 | |
| | | | 〈退職給付引当金計〉 | 2,472,000 |
| **固定負債合計** | | | | **2,472,000** |
| **負債合計** | | | | **3,167,207** |
| **正味財産** | | | | **3,975,659** |

# 監査報告書

公益社団法人　呉青年会議所
理事長　　糸谷　知剛　　殿

2023年1月19日

公益社団法人 呉青年会議所

監事 井田 大敬

監事 松村 和樹

私たち監事は、2022年1月1日から2022年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備を努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

# 監査報告書

公益社団法人 呉青年会議所
理事長　　糸谷　知剛　　殿

2023年1月19日

広島県呉市中通2丁目4番14号

武安会計事務所
監査人・税理士　武安紘二

上記、公益社団法人呉青年会議所2022年度収支決算報告書に関して本職は補助者2名をもって、公益社団法人呉青年会議所会計全般における現金の実査、預貯金の残高確認、諸帳簿の記帳確認、証憑書類、関係書類の照合確認等監査致しました結果、すべて適正・適法に処理が為されて且つ上記のとおり正当に表示されていることを認めます。

JCI™
Junior Chamber International Kure

公益社団法人　呉青年会議所
事務局／〒737−0045　呉市本通4丁目8番12号
呉商工会議所ビル南館内7F−704
TEL（0823）21−1081　FAX（0823）21−0800
https://www.kure-jc.or.jp/
e-mail info@kure-jc.or.jp